

Smart LEDZ®

ユーザーマニュアル

ENDO
LIGHTING CORP.

Ver 1.0

ユーザーマニュアル 目次



■無線環境の設定

- A: ゲートウェイリスト作成 ... P.13
- B: ゲートウェイ設定 ... P.21

■無線機器の設定

- C: 画面登録 ... P.35
- D: 照明シンボルのレイアウト (SLエディターソフトの概要) ... P.36
- E: ゲートウェイ・照明シンボルの接続 ... P.41

■照明制御の設定

- F: 照明グループの設定 ... P.46
- G: 照明スケジュールの設定 ... P.53
- H: センサーの設定 ... P.54
- I: その他の詳細設定 ... P.63

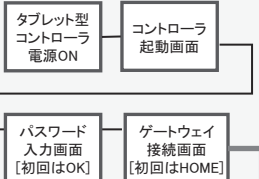
■コントローラ画面

- J: HOME画面 (個別操作) ... P.67
- K: モニター画面 ... P.69
- L: ヘルプ画面 ... P.71

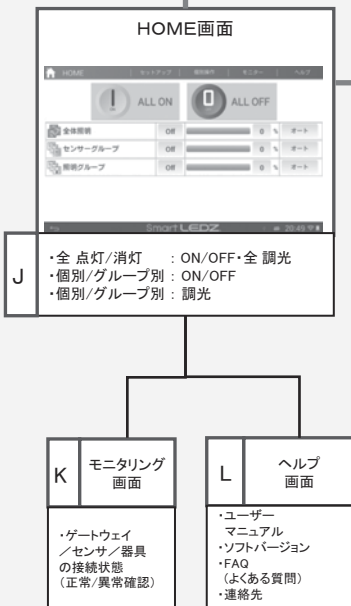
システム構成図

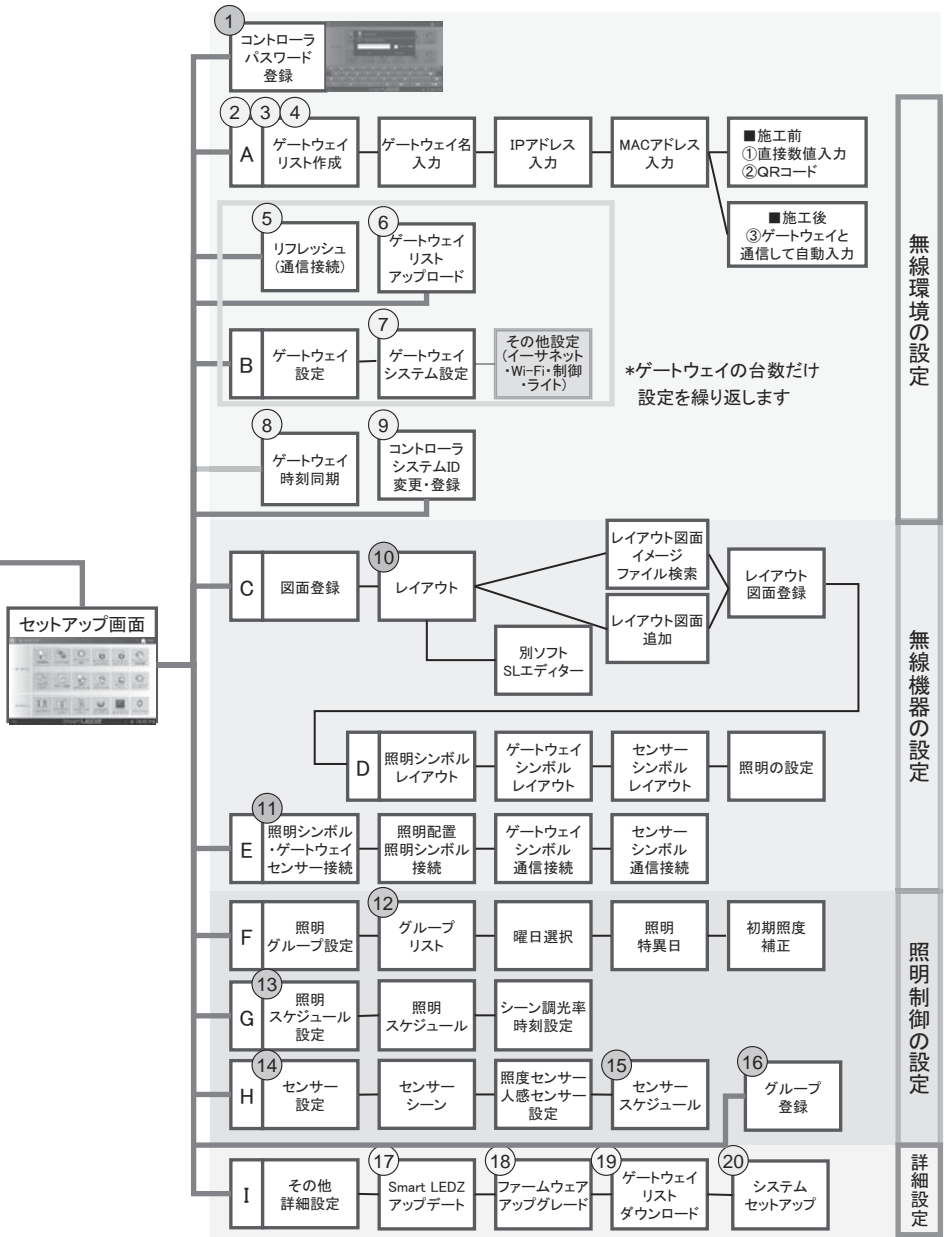
初回の設定

■初回の設定



コントローラ画面





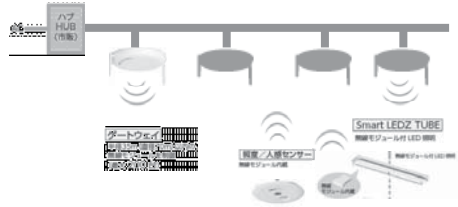
現場で設定必要

■ 該当のゲートウェイや照明器具を目視できる位置



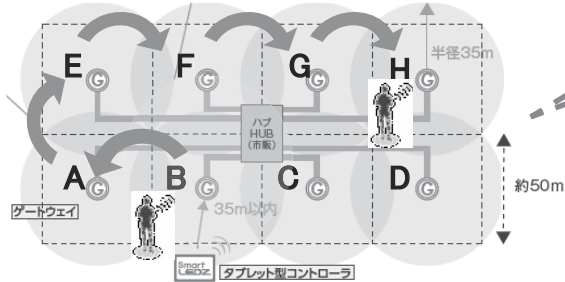
- ②
- ③
- ④
- ⑩

*ゲートウェイ施工後の場合



◆ ⑦ゲートウェイリスト アップロードの完了後

ゲートウェイリストに登録・アップロードされたゲートウェイ: A~H だけが、ユーザーのタブレット型コントローラと通信接続となります。LANケーブルで接続されたゲートウェイ通信範囲内では、タブレット型コントローラがどこにあっても、最適な通信状態のゲートウェイと接続されます。



■ コントローラの常設場所
(最も近いゲートウェイまで35m以内の通信可能場所)

◆ 全ての設定が完了後

コントローラ1台が所定の設置場所にあれば、GW:A~H (最大10GW/2000WM)が、コントロールできます。

現場で設定必要

コントローラ用壁付電源アダプター



タブレット型コントローラ
ゲートウェイ 10台までの通信可能

- ⑤ リモコンを登録
- ⑥ ネットワーク設定
- ⑦ ネットワーク設定
- ⑧ ネットワーク設定
- ⑫ ネットワーク設定
- ⑬ ネットワーク設定
- ⑭ ネットワーク設定
- ⑮ ネットワーク設定
- ⑯ ネットワーク設定
- ⑰ ネットワーク設定
- ⑱ ネットワーク設定
- ⑲ ネットワーク設定

別の場所

■ 通信状態に関係ない場所



- ⑨
- ①
- ②
- ③
- ④

*ゲートウェイ施工前の場合



*図面データをマイクロSDカードでインストールする場合



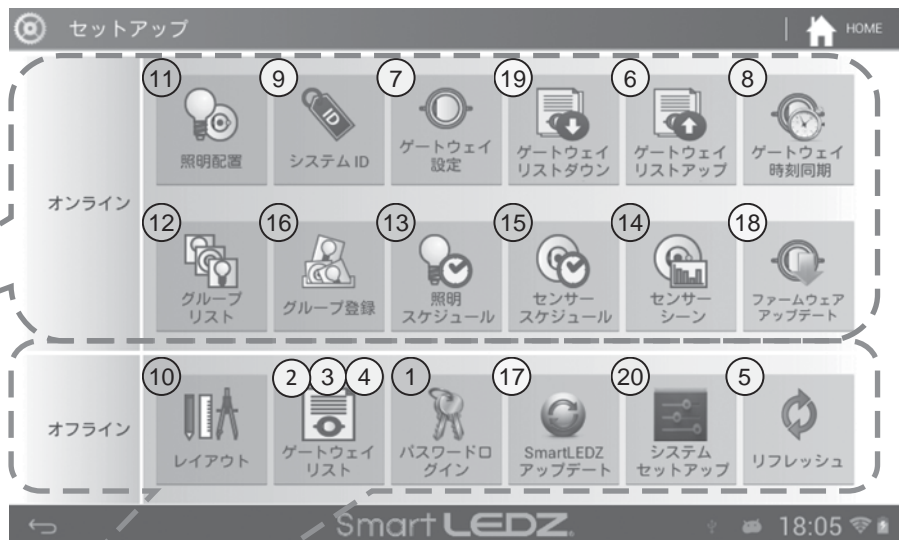
別の場所

■ 通信状態に関係ない場所
(ユーザーのパソコン:Windows)



*図面データをマイクロUSBコードでインストールする場合
*別ソフト使用時(SLエディター: シンボリアウトソフト)

“セットアップ”画面の説明



- ① パスワードログイン：システム使用のため、パスワードを変更します。
- ② ゲートウェイリスト：システム内で連動するゲートウェイリストを作成/編集/削除します。
- ③ ④
- ⑤ リフレッシュ：ゲートウェイに接続できる画面を提供します。
- ⑥ ゲートウェイリストアップロード：コントローラが持っているゲートウェイリストを全てのゲートウェイに送信します。
- ⑦ ゲートウェイ設定：一台のゲートウェイについて詳細設定をします。
- ⑧ ゲートウェイ時刻同期：ゲートウェイとコントローラ間の時間を同期します。
- ⑨ システムID：システムIDを編集します。
- ⑩ レイアウト：照明/センサーデバイスが配置される図面を登録します。
- ⑪ 照明配置：照明/センサーデバイスを配置するかを設定します。
- ⑫ グループリスト：照明/センサーデバイスが属するグループリストを作成/編集/削除します。
- ⑬ 照明スケジュール：照明のスケジュールを作成/編集/削除します。
- ⑭ センサースケジュール：センサースケジュールを作成/編集/削除します。
- ⑮ センサーシーン：センサースケジュールに使用されるシーンを作成/編集/削除します。
- ⑯ グループ登録：照明/センサーのデバイスを作成したグループに登録/登録解除します。
- ⑰ Smart LEDZアップグレード：Smart LEDZ アプリケーションをアップグレードします。
- ⑱ ファームウェアアップデート：ゲートウェイ、センサー、ワイヤレスモジュールをアップグレードします。
- ⑲ ゲートウェイリストダウンロード：ゲートウェイが持っている全てのゲートウェイリストをコントローラに送信します。
- ⑳ システムセットアップ：Android設定の画面から切り替えてコントローラの設定を変更することができます。

◆ゲートウェイリストにゲートウェイ:Aを登録

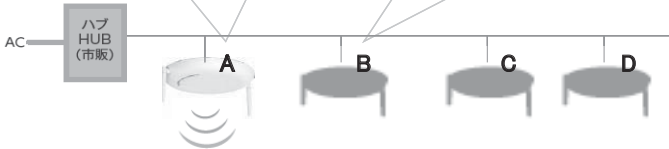
- ゲートウェイ名:必ず1文字以上の個別名称必要
(工場出荷時空欄)⇒(例:ゲートウェイA)
- IPアドレス:個別アドレス必要
(工場出荷時は空欄)⇒(例:192.168.10.1)
- MACアドレス:固有識別番号を保有
(工場出荷時 固有番号)⇒変更不可

◆ゲートウェイ設定時
IPアドレス:②で作成したIPアドレスが
反映されます⇒(例:192.168.10.1)

◆ゲートウェイリストにゲートウェイ:Bを登録

- ゲートウェイ名:必ず1文字以上の個別名称必要
(工場出荷時空欄)⇒(例:ゲートウェイB)
- IPアドレス:個別アドレス必要
(工場出荷時は空欄)⇒(例:192.168.10.2)
- MACアドレス:固有識別番号を保有
(工場出荷時 固有番号)⇒変更不可

◆ゲートウェイ設定時
IPアドレス:②で作成したIPアドレスが
反映されます⇒(例:192.168.10.2)



- 2 3 4 ゲートウェイリスト
- ゲートウェイ名
IPアドレス
MACアドレス
- 7 ゲートウェイ設定
- IPアドレス

タブレット型
コントローラ

パスワード:
コントローラの
セキュリティー

(工場出荷時は 空欄)
⇒最大 10桁の文字

ゲートウェイ Aの Wi-Fiパスワード (工場出荷時 12345678) ⇒必ず8桁の任意の英・数字 (例:A:1234567)	Bの Wi-Fiパスワード (例:B:1234567)	Cの Wi-Fiパスワード (例:AAAAAAA)	Dの Wi-Fiパスワード (例:D:1234567)
--	--------------------------------	------------------------------	--------------------------------

Wi-Fiパスワードは、同じ値でもちがう値でも問題ありません。
他ユーザーからアクセスできないようにすることが目的です。
ユーザーの管理しやすいパスワードをお勧めします。

Wi-Fi 通信

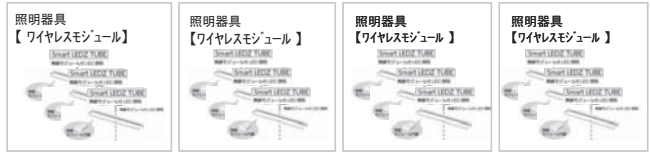
ゲートウェイAのシステムID (工場出荷時 1234567890) ⇒必ず10桁の任意の英・数字 (例:A:00000000)	BのシステムID (例:A:000000001)	CのシステムID (例:A:000000001)	DのシステムID (例:A:000000001)
--	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

LANケーブルで接続されたゲートウェイのシステム ID は、必ず全て同じ値の設定が必要です。
自動再接続ができなくなるなど、通信上の不具合がおきます。
ゲートウェイ A のシステム ID 設定すると、ゲートウェイリストに登録済みの全てのゲートウェイは、
同じシステムIDに同期されます。

ゲートウェイAのネットワークID (工場出荷時 0 が入力) ⇒1~65534までの数字 (例:11111)	BのネットワークID (例:11111)	CのネットワークID (例:11111)	DのネットワークID (例:11111)
---	-------------------------	-------------------------	-------------------------

ゲートウェイのネットワークIDは、0以外の数値を登録してください。
LANケーブルで接続されたゲートウェイのネットワークIDは、必ず全て同じ値の設定が必要です。
ゲートウェイAのネットワークIDを編集ボタンで登録すると、ゲートウェイリストに登録済みの全ての
ゲートウェイは、同じネットワークIDに自動的に更新します。

ゲートウェイとワイヤレスモジュール間の通信



1 パスワード
ログイン

- 7 ゲートウェイ設定
- Wi-Fiパスワード
- 9 システムID
- システムID
- 7 ゲートウェイ設定
- ネットワークID

パスワード :他ユーザーに操作させないもので、値には機能的な意味を持たない
ID番号 :通信接続や同期といった機能的に重要な値

OK ○ 使用できる組み合わせ

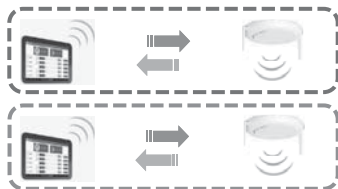
①ゲートウェイ単独1台



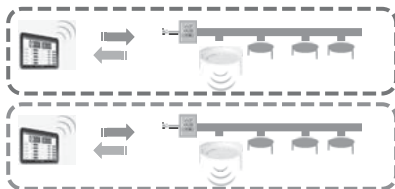
②ゲートウェイ複数
【LANケーブル接続】



③複数ユーザー×ゲートウェイ単独1台



④複数ユーザー×【LANケーブル接続】



△ 複雑な条件設定をすれば可能
お勧めできない組み合わせ

例:Aのコントローラに組合せる特定のゲートウェイだけをゲートウェイリストに登録します。

AグループとBグループで、【システムID】と【ネットワークID】を別の値を登録します。

⇒HUBを追加して複数のLANケーブルネットワークを構築する方法を(②の状態)お勧めします。

⑤単独ユーザー×複数コントローラ
【LANケーブル接続の特定ゲートウェイ】



NG ✕ 使用できない組み合わせ

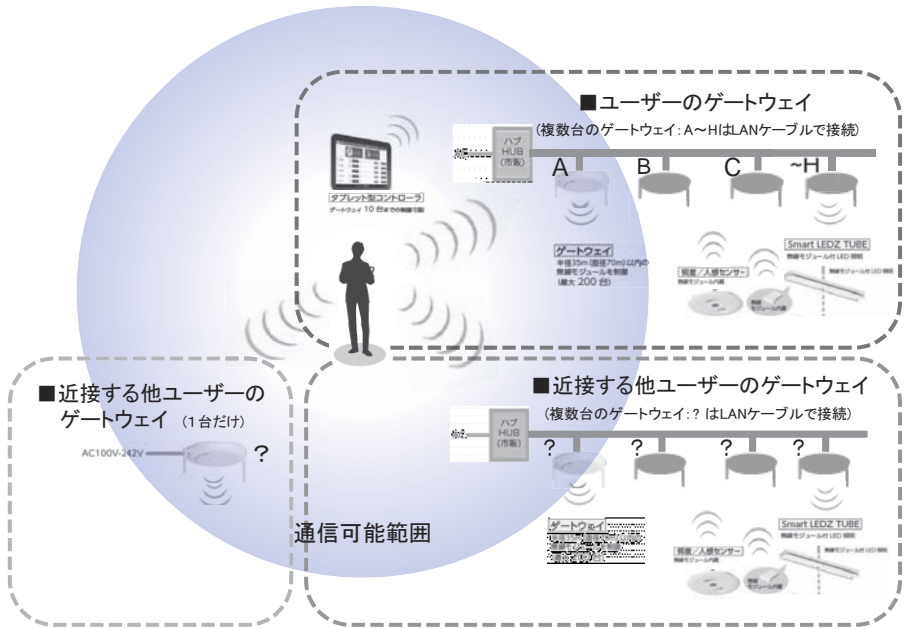
NG:コントローラ複数
ゲートウェイ1台



NG:コントローラ1台×複数
【LANケーブル接続】



コントローラによるゲートウェイの制御

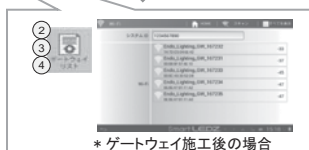
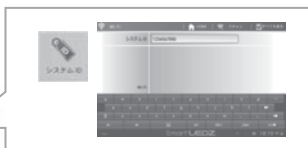


- ◆ 近接する他ユーザーの別 LANケーブルネットワークが存在する場合、コントローラの通信距離が圧倒的に別ユーザーGWが近くても、IPアドレスなどの通信設定をおこない、ゲートウェイリストに登録・アップロードすることで、ユーザーゲートウェイ:A~H だけが、ユーザーのタブレット型コントローラと通信接続状態となります。
LANケーブルで接続されたゲートウェイ通信範囲内では、タブレット型コントローラがどこにあっても自動再接続機能で、最適な通信状態のゲートウェイと接続されます。
- ◆ ゲートウェイの自動再接続条件は以下のとおりです。
 - ① LAN 運動されているゲートウェイであること
 - ② 少なくとも一度は、ユーザーがパスワードを直接入力して接続されたゲートウェイであること
 - ③ 接続済みゲートウェイとの接続が一旦切断されていること
 - ④ [ゲートウェイリスト]に登録されているゲートウェイであること
- ◆ GWが1台で、LANケーブルに接続されていない場合は、さまざまなコントローラと接続される可能性があります。
ゲートウェイにWi-Fiパスワードを登録することで、他のユーザーのコントローラでのリストへの登録を防ぐことができます。

コントローラとゲートウェイの接続、設定の概要

タブレット型コントローラ

ゲートウェイ 10 台までの制御可能



*ゲートウェイ施工後の場合



■コントローラの常設場所
(最も近いゲートウェイまで
35m以内の通信可能場所)



■システムID

ユーザーのコントローラを識別させるための名称

■ゲートウェイリスト

ユーザーのゲートウェイをリストに登録することで、ユーザーコントローラ(システムID)との優先通信先を特定させます。

3つの項目をゲートウェイごとにすべて登録します。

1. ゲートウェイ名

ゲートウェイ固有の識別番号SSID

(例: Endo Lighting_GW●●●●●●●●)とは別の識別しやすい任意名称

2. IPアドレス

3. MACアドレス(固有番号)

■リフレッシュ&リストアップロード

コントローラ内に作成したゲートウェイリスト(ユーザー優先)をゲートウェイにアップロードする。

そのために、コントローラをユーザーのゲートウェイ真下(通信条件が最良)へ移動させ、通信検索・接続可能(リフレッシュ)な状態にして、リストをアップロードします。ゲートウェイ毎にリフレッシュ&アップロードする必要があります。

■ユーザーのゲートウェイはLANケーブルで同期されます。

接続、設定完了後は、ユーザーのコントローラは、同期されたゲートウェイの通信可能範囲内で最適な通信状態のゲートウェイを自動選択・接続します。

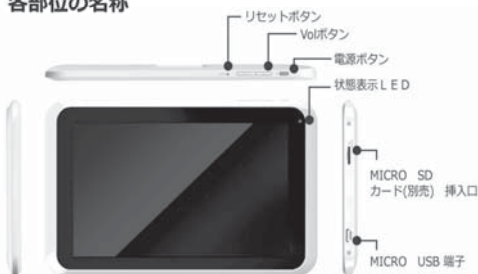


■ゲートウェイ設定: 照明器具(無線モジュール)との通信のためのゲートウェイ設定をおこないます。

■ゲートウェイ時刻同期: スケジュールを設定するためにコントローラとゲートウェイを時刻同期させます。

タブレット型コントローラの起動

各部位の名称



電源ON / OFF



- 電源ON**
-電源ボタンを2秒程度長押しすると電源が入ります。
- 電源OFF**
-電源ボタンを2秒程度長押ししてください。
- PowerOffポップアップメニューでOKを選択すると、電源が消えます。



タブレット型コントローラのスイッチをONにします。
起動後にパスワード確認用画面が表示されます。
(この画面は、セキュリティのためのパスワード確認用です。
パスワード登録画面ではありません)

初期設定時は、[OK]を押して、システムID設定画面に進んでください。

初回の設定

システムIDを確認する



システムIDの確認画面が表示されます。
初回起動時は、工場出荷時のシステムID“1234567890”がそのまま表示されます。

別画面で登録をおこないますので、そのまま[HOME]を押して“HOME”画面を表示させます。

*システムIDとは、ユーザーのタブレット型コントローラを識別する番号です。
同一ユーザーが複数コントローラを使う場合の識別や、近接する他ユーザーのコントローラと接続共有できないようにするために必要な番号です。



[セットアップ]を押して“セットアップ”画面を表示させます。

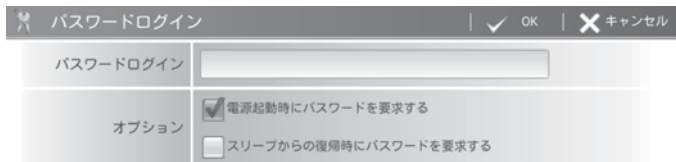
パスワードの登録

タブレット型コントローラのパスワード登録



「セットアップ」画面から[パスワードログイン]メニューを 選択します。

パスワード入力画面が表示されます。パスワード登録していない場合は、そのまま[OK]を押します。



コントローラ起動時のパスワードを登録することができます。(工場出荷時は、パスワード未設定)
パスワードは半角の英字と数字の組み合わせで最大10文字まで入力することができます。

最初にパスワード登録せず、全ての初期設定が完了した後で、パスワードを登録することもできます。
パスワード“を変更する場合、同じ手順です。
セットアップ”画面から[パスワードログイン] → [パスワードログイン]

電源起動時にパスワードを要求するのチェックを外すと、次回以降の起動時にパスワード確認用画面が表示されません。

「スリープからの復帰時にパスワードを要求する」にチェックすると、スリープ状態から復帰するときに、パスワードを要求します。
工場出荷時はチェックが外れています。

A	ゲートウェイ リスト
---	---------------

ゲートウェイリスト作成と登録



- タブレット型コントローラは、通信可能範囲の全てのWi-Fi通信機器が表示できます。(ゲートウェイを含む)
- ゲートウェイリストに、ゲートウェイ名、IPアドレス、MACアドレスを登録しておくことで、1台のコントローラで制御できるゲートウェイの台数を最大10台まで増設することができます。他ユーザーゲートウェイとの誤接続を抑制し、作業もスムーズになります。
- 複数台のゲートウェイを使用する場合、【追加】ボタンで残りのゲートウェイも全てリスト内に登録します。
- 複数ユーザーが同じ現場に隣接する場合には、ゲートウェイの取付・施工前にあらかじめゲートウェイリストを作成・登録しておく方法もあります。

■ ゲートウェイ名：

ゲートウェイには出荷時に個別のSSIDが設定されています。

(例：Endo_Lighting-GW_16732)

このSSIDとは別に、ユーザーが管理しやすいゲートウェイ名をキーボードで入力します。

■ IPアドレス：

ゲートウェイとタブレット型コントローラはWi-Fi通信ですが、ゲートウェイを2台以上使用する場合は、相互にLANケーブル(有線)で接続するため、一般的なパソコンの有線ネットワークと同様に、IPアドレスの設定が必要です。

PCネットワークが設置されている現場

現場のネットワーク管理者にIPアドレスを確認のうえ、入力してください。

PCネットワークが未設置の現場

一時的なIPアドレスを仮入力してください。現場管理者、または施主ネットワーク管理者へ仮入力IPアドレスを伝えてください。

(タブレット型コントローラで、仮入力IPアドレスを確認することもできます。

ゲートウェイ設定を参照)

■ MACアドレス：

ゲートウェイには出荷時に固有のMACアドレスが設定されています。MACアドレスは、ゲートウェイ背面の銘板シールに表示されています。(WLANの数値)

MACアドレスの確認入力方法には、3種類あります。

①ゲートウェイ確認後、直接数値入力する方法

施工取付前にゲートウェイのMACアドレスの数値を確認して入力する。

②QRコードから自動で取り込む方法

ゲートウェイの銘板シールに表示されたQRコードをタブレット型コントローラのカメラで自動取り込みをおこなう。

③ゲートウェイ取付後に、ゲートウェイと無線接続する方法

タブレット型コントローラをゲートウェイの直下で通信して接続する方法

A	ゲートウェイ リスト
---	---------------

ゲートウェイリストに ゲートウェイ名を登録する

- 「セットアップ」画面からゲートウェイリストを選択します。
ゲートウェイが接続されていない状態(オフライン状態)でも設定できます。



ゲートウェイリストの画面から[追加]を押して、「ゲートウェイ追加」(新規登録画面)を表示させます。



ゲートウェイ名には、各ゲートウェイを識別可能な任意の名称を入力します。
入力場所をタッチするとキーボードが表示されます。
最小1文字から入力でき、最大は、全て漢字の場合は最大16文字、数字の
場合は最大64文字入力できます。



A	ゲートウェイ リスト
---	---------------



ゲートウェイリストに IPアドレスを登録する

IPアドレスを入力します。
入力場所をタッチすると、キーボードが表示されます

PCネットワークが設置されている現場
現場のネットワーク管理者にIPアドレスを確認のうえ、入力してください。

PCネットワークが未設置の現場
一時的なIPアドレスを仮入力してください。現場管理者、または施工
ネットワーク管理者へ仮入力IPアドレスを伝えてください。
(タブレット型コントローラで、仮入力IPアドレスを確認することもできます。
ゲートウェイ設定を参照)

● ゲートウェイ追加		✓ OK	✕ キャンセル
ゲートウェイ名	ゲートウェイ01		
IPアドレス	192.168.10.31		
MACアドレス	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
		QRコード	ゲートウェイ選択



* 本項で、ゲートウェイリストを作成しますが、各ゲートウェイ名とIPアドレスについて77ページの表に記入をお願いします。

記載内容は、77ページのゲートウェイ設定の、IPアドレス入力用の控えとして使用してください。

A ゲートウェイ
リスト

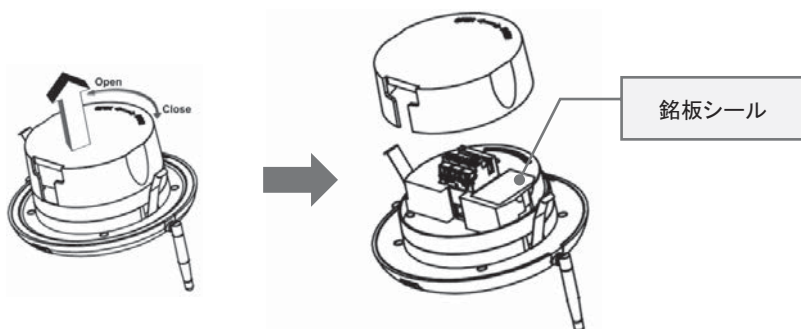
ゲートウェイリストにMACアドレスを 登録する①施工前：直接数値入力



MACアドレス (MAC Wi-Fiアドレス) を入力します。
入力場所をタッチすると、キーボードが表示されます。



①ゲートウェイ確認後、直接数値入力する方法



ゲートウェイ背面カバーを外すと銘板シールがあります。このシールに表示されたWLAN数値がMACアドレスです。この数値を直接入力します。

A	ゲートウェイ登録
---	----------

ゲートウェイリストにMACアドレスを登録する ②施工前:QRコード

②ゲートウェイのQRコードをカメラで自動取り込みする方法

ゲートウェイ背面の銘板シールにQRコードがあります。このQRコードにMACアドレス情報が入っています。

MACアドレスの入力画面の右側のQRコードボタンをクリックするとコントローラのカメラが起動します。



QRコードをカメラの読み取り範囲内で写すと自動的にコードを認識してピープ音と共にMACアドレスが自動入力されます。



できるだけ明るい場所でラベルとコントローラを水平に維持して距離は約30cmほどの距離を置きます。

A	ゲートウェイ 登録
---	--------------

ゲートウェイリストにMACアドレスを登録する③施工後：無線接続

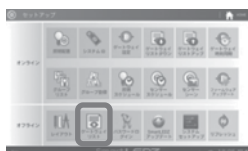
③ゲートウェイ(直下)からWi-Fi通信で取り込む方法



ゲートウェイ施工後など、ゲートウェイの銘板シールに表示されたMACアドレス、QRコードを直接確認することが出来ない場合の入力方法です。



タブレット型コントローラを現場のゲートウェイ真下に移動させ、Wi-Fi通信によって固有のMACアドレスデータを取り込み、ゲートウェイリストの自動入力を行います。



ゲートウェイ追加

ゲートウェイ名

IPアドレス

MACアドレス

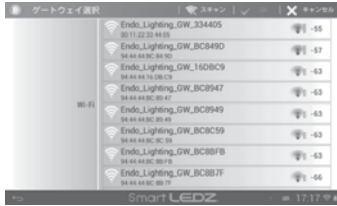
QRコード

ゲートウェイ選択



ゲートウェイ名、IPアドレスを入力し、画面右側のゲートウェイ選択のボタンを押します。ゲートウェイ選択の画面が表示されます。

A	ゲートウェイ リスト作成
---	-----------------



周辺のゲートウェイの検索結果が表示されます。
[スキャン]ボタンで再検索も可能です。

スキャン完了後、ゲートウェイ選択画面にゲートウェイのSSID(固有識別番号)が表示されます。青い色が最も信号が強く、緑、赤の順で信号が弱くなります。一般的に、信号が強いほど、コントローラの近くにあるゲートウェイになります。



表示されたリストからゲートウェイを選択し、SSIDを押すと、パスワードとシステムIDの入力画面が表示されます。項目入力後[OK]を押し、ゲートウェイと接続します。



接続が完了すると、選択したゲートウェイのインジケータが点滅します。ゲートウェイの位置を確認し、[OK]をクリックすると、MACアドレスが自動入力されます。LANケーブルで接続されているすべてのゲートウェイに同じ操作を繰り返します。

- ・タブレット型コントローラの位置を中心に近しいゲートウェイから1台ずつ順番に自動スキャンを開始します。
- ・通信距離に制限があるため、ゲートウェイの真下に移動して、1台ずつリストに追加してください。



リフレッシュ

コントローラとゲートウェイを接続するためのリフレッシュ操作

5 1. ゲートウェイの選択



[リフレッシュ]を押すとゲートウェイを検索します。Wi-Fiリストに何も表示されない場合、右上の「すべてを表示」のチェックします。

[すべてを表示]とは、QRコードと他の方法でコントローラに登録されているゲートウェイのみを表示する機能です。



Wi-Fi リストから接続したいゲートウェイを選択します。ゲートウェイ選択画面は「セットアップ」画面から [リフレッシュ]メニューで再接続することが可能です。

登録されたゲートウェイは [セットアップ] → [ゲートウェイリスト]で確認することができます。ゲートウェイのMACアドレスを基に接続するかどうかを判断してください。

2. Wi-Fiパスワードを入力



Wi-Fiパスワードを入力します。初回は、「12345678」を入力してください。[パスワードを表示]オプションを選択すると、入力したパスワードを確認することができます。パスワード入力が完了したら、[OK]ボタンを押します。パスワードが正しく入力されたら、[接続] [IPアドレス割当] [認証]の順序で、ゲートウェイに接続します。

3. アップデートの確認



認証が完了すると、コントローラが自動的にゲートウェイリストを確認します。この時、コントローラ内部に保存しているゲートウェイリストとゲートウェイが保存しているゲートウェイリストを比較して、それらが異なっている場合、「ゲートウェイリストをアップデートしますか?」のポップアップが表示されます。初回設定時は、「No」を選択します。

ゲートウェイが2台以上の場合、以下の作業を台数分だけ実施する必要があります。

- ⑥リフレッシュ
- ⑦ゲートウェイリストアップロード
- ⑧ゲートウェイ設定

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイ設定のシステム設定



ゲートウェイリストに登録したゲートウェイのシステム設定を行います。
 “セットアップ”画面で[ゲートウェイ設定]を押します。
 Wi-Fiに接続したゲートウェイのシステム設定をすることができます。



コントローラで作成したゲートウェイリストのゲートウェイが左側に表示されます。
 “ゲートウェイ設定”画面の左にあるリストの中で、緑色のチェックが入っているものが現在接続されているゲートウェイです。

P.26～P.29“システム設定の詳細説明”および“その他の設定詳細説明”に従ってすべての項目を入力してください。(通信が正常に行われている場合、項目別に自動的に入力されるものもあります。)操作を繰り返し、Smart LEDZシステムで使用する全てのゲートウェイを設定します。

■システム:ゲートウェイのシステム情報

OSバージョン :【自動表示】/ゲートウェイのOSバージョン

ファームウェアバージョン:【自動表示】/ゲートウェイのファームウェア(ソフトウェア)のバージョン

状態 :【自動表示】/ゲートウェイの現在の接続状態が自動的に表示されます。

ネットワークID :【設定必要】/コントローラが制御可能な装置の識別番号

工場出荷時は“0”が入力されています。【編集】ボタンからID登録します。

1～65534までの任意数字からネットワークIDを設定してください。

接続状態 :【設定必要】/ネットワークID(ゲートウェイと照明器具内ワイヤレスモジュール間)

の無線通信接続可能な状態/通信不可能な状態が選択できます。

(隣接する別ユーザーの無線式照明器具との通信接続ミス防止)

工場出荷時は、“非接続”(通信不可)になっています。

【編集】ボタンから“活性化”(通信可能)を選択してください。

リセット:ゲートウェイをリセットします。

工場出荷状態に戻す :工場出荷状態では、3段階の設定を選択できます。

1.共通データベース削除:シーン、スケジュール、グループ情報などWLAN情報を除いた値が初期化されます。

2.全てのデータベース削除:ユーザーが入力した全ての情報が初期化されます。

3.ファイルシステムフォーマット:システムをフォーマットします。

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイ設定のシステム設定



ネットワークIDは、他のユーザーとの競合を避けるために記録しておくことをおすすめします。

接続状態：

ネットワークID(ゲートウェイと照明器具内ワイヤレスモジュール間)の無線通信接続可能な状態/通信不可能な状態が選択できます。

(隣接する別ユーザーの無線式照明器具との通信接続ミス防止します。)

工場出荷時は、「非接続」(通信不可)になっています。

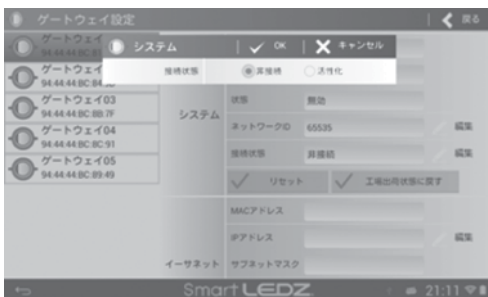
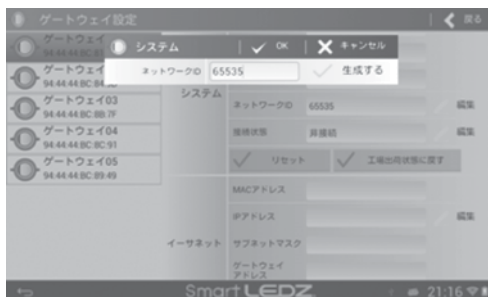
【編集】ボタンから[活性化](通信可能)を選択して[OK]を押してください。

ネットワークID：

コントローラがゲートウェイから制御できる照明器具、センサーの識別番号です。工場出荷時は“0”が入力されています。

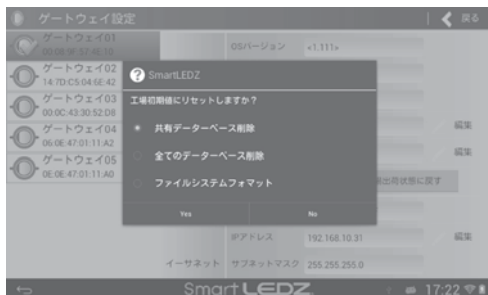
【編集】ボタンからネットワークID登録をして[OK]を押してください。

1～65534までの任意数字からネットワークIDを設定できます。



[工場出荷状態に戻す]を押すと、以下の3つの初期化のタイプを選択します。

- 共有データベース削除：
シーン、スケジュール、グループ情報などWLAN情報を除いた値が初期化されます。
- 全てのデータベース削除：
ユーザーが入力した全ての情報が初期化されます。
- ファイルシステムフォーマット：
システムをフォーマットした後、新しくインストールします。



B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

その他(イーサネット・Wi-Fi・制御・ライト) を設定する ①

ゲートウェイ設定

ゲートウェイ01
00:08:96:37:45:10

ゲートウェイ02
14:7D:C5:04:6E:42

ゲートウェイ03
00:0C:43:30:52:D8

ゲートウェイ04
06:0E:47:01:11:A2

ゲートウェイ05
0E:0E:47:01:11:A0

7

ゲートウェイ設定

システム

OSバージョン	<0.000>
ファームウェアバージョン	<9.030>
状態	ノーマル
ネットワークID	65535
接続状態	非接続

リセット 工場出荷状態に戻す

イーサネット

MACアドレス	00:26:C6:31:57:E1
IPアドレス	192.168.10.31
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.10.1
DNSアドレス	0.0.0.0

Wi-Fi

MACアドレス	00:08:9F:57:4E:10
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.2.1
SSID	Endo_Lighting_GW_167231
パスワード	12345678
送信電力	13 dBm

制御 CC2530

MAC	00:12:4B:00:01:33:01:08
バージョン	<0.030>
送信電力	8 dBm

ライト CC2530

MAC	00:12:4B:00:01:32:FA:CB
バージョン	<0.030>
送信電力	8 dBm

- 設定項目を入力し、[OK]ボタンを押すと設定が完了します。
- 現場に設置されているすべてのゲートウェイに対して、このような設定操作を繰り返し実行します。
- 設定の際、何らかの理由で正確に設定されない場合は、周辺のコントローラをすべて終了し、ゲートウェイとコントローラが1:1対応できるような環境を用意し、コントローラの「セットアップ」画面から[リフレッシュ]ボタンを使用して、ゲートウェイとの再接続が行われるようにしてください。
- ネットワークIDが初期値の“0”のままか、イーサネットIPアドレスが更新されていない場合、セットアップ画面の“照明配置などが制限されます”。

その他(イーサネット・Wi-Fi・制御・ライト) を設定する ②

イーサネット：
ゲートウェイ間の有線通信のための設定情報

IPアドレス：
ゲートウェイイーサネット(有線LAN)通信のためのIPアドレスです。工場出荷設定として、“空欄”となっています。[編集]ボタンを押すと、ゲートウェイ登録時に入力したIPアドレスが自動で表示されます。(このIPアドレスは変更できません。)
サブネットマスク/ゲートウェイアドレス/DNSアドレスは、編集することができます。
入力後、[OK]を押してください。



Wi-Fi：ゲートウェイとコントローラー間の無線通信のための設定情報です。

SSID(ゲートウェイの代表名)/パスワードは[編集]で変更することが可能です。
入力後、[OK]を押してください。

Wi-Fi：「送信電力」
施工環境によって、送信電力値を変更することができます。



制御CC2530：「送信電力」
ゲートウェイとセンサー間の無線通信設定です。
施工環境によって、送信電力値を変更することができます。

ライトCC2530：「送信電力」
ゲートウェイと照明器具間の無線通信設定です。
施工環境によって、送信電力値を変更することができます。



B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイのWi-Fiパスワードを設定する



同一現場に複数のユーザーが存在する場合、タブレット型コントローラとゲートウェイの接続を特定するためにWi-Fiパスワード(コントローラとゲートウェイ間のパスワード)の設定ができます。

パスワードを設定することで、誤って他のユーザーのコントローラからゲートウェイや照明器具を操作されることを防ぐことができます。



例えば、次のような現場で有効となります。

- ・ホテルの客室や、テナントオフィスビル、百貨店・ショッピングモールのテナントなど異なるユーザーが同一空間に存在する場合
- ・各ユーザーごとにタブレット型コントローラとゲートウェイ、センサー、照明器具の管理を区別する必要がある場合。

単独ユーザーで、近くに干渉する無線システムが無い場合、パスワードを設定しなくても制御は可能ですが、セキュリティ強化のためパスワードを設定することをお勧めします。

パスワードは必ず8桁の半角英数を使用してください

イーサネット	MACアドレス	00:26:C6:31:57:E1	
	IPアドレス	192.168.10.31	編集
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	ゲートウェイアドレス	192.168.10.1	
	DNSアドレス	0.0.0.0	
Wi-Fi	MACアドレス	00:08:9F:57:4E:10	
	IPアドレス	192.168.2.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	ゲートウェイアドレス	192.168.2.1	
	SSID	Endo_Lighting_GW_167291	編集
	パスワード	12345678	
制御 CC2530	送信電力	13	dBm 編集
	MAC	00:12:4B:00:01:32:01:08	
	バージョン	<0.030>	
ライト CC2530	送信電力	8	dBm 編集
	MAC	00:12:4B:00:01:32:FA:CB	
	バージョン	<0.030>	
	送信電力	8	dBm 編集

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

システム、イーサネット設定の詳細説明

項目	説明
システム	:ゲートウェイのシステム情報
OSバージョン	ゲートウェイの OSバージョンが自動的に表示されます。
ファームウェアバージョン	ゲートウェイのファームウェアバージョンが自動的に表示されます。
状態	ゲートウェイの現在の接続状態が自動的に表示されます。
ネットワーク ID	コントローラが制御可能な装置の識別番号として登録します。
接続状態	ネットワーク ID (ゲートウェイと照明器具内の無線モジュール間)の無線通信 接続可能な状態 / 通信不可能な状態が選択できます。隣接する別ユー ザの無線式照明器具との通信接続ミスを防止します。
リセット	ゲートウェイをリセットします。
工場出荷状態に戻す	ゲートウェイを工場出荷状態に戻します。
イーサネット	:ゲートウェイ間の有線通信のための設定情報
MACアドレス	ゲートウェイイーサネットの固有識別番号
IPアドレス	ゲートウェイイーサネットの IPアドレス
サブネットマスク	ゲートウェイイーサネット IPアドレスのサブネットマスク
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイイーサネットの外部ネットワーク接続のためのルーター IPアドレス
DNSアドレス	ゲートウェイイーサネットの外部ネットワーク接続の DNSアドレス。未使用時 0.0.0.0 と表示

	工場出荷状態 (デフォルト)	入力	編集	
			Min	Max

	1.008	自動表示		
	1.008	自動表示		
	無効	自動表示		
	0	選択	1	65534
	“非接続”(通信不可)	選択⇒“活性化”(通信可能)	非接続	活性化
	リセットしない	選択⇒リセット		
	工場出荷状態	選択⇒工場出荷状態に戻す		

	XX:XX:XX:XX:XX:XX	ゲートウェイリスト 登録手順で入力		
	空欄	ゲートウェイリスト 登録手順で入力		
	空欄	ゲートウェイリスト 登録手順で入力		
	空欄	初期設定時は 0.0.0.0 のまま		
	空欄	初期設定時は 0.0.0.0 のまま		

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

その他の設定 詳細説明

項目	説明
Wi-Fi	:ゲートウェイとコントローラ間の接続のための設定情報
MACアドレス	Wi-Fi通信のための固有識別番号(Read only)
IPアドレス	ゲートウェイ内で使用しているIPアドレス(Read only)
サブネットマスク	IPアドレスのサブネットマスク
ゲートウェイアドレス	ルーターのIPアドレス
SSID	ゲートウェイの代表名
パスワード	Wi-Fi接続時のパスワードの設定。英数字で8文字を入力します。
送信電力	IEEE802.15.4信号の通信強さ
制御 CC2530	:ゲートウェイと照度・人感センサ間の無線通信の設定
MAC	センサと無線通信するための固有識別番号
バージョン	ゲートウェイ内にあるセンサと通信するためのチップセットのソフトウェアバージョン
送信電力	IEEE802.15.4信号の通信強さ
ライト CC2530	:ゲートウェイと照明器具(無線モジュール)間の無線通信の設定
MAC	センサと無線通信するための固有識別番号
バージョン	ゲートウェイ内にあるセンサと通信するためのチップセットのソフトウェアバージョン
送信電力	IEEE802.15.4信号の通信強さ

	工場出荷状態 (デフォルト)	入力	編集	
			Min	Max

	XX:XX:XX:XX:XX	自動表示		
	192.168.2.1	自動表示		
	255.255.255.0	自動表示		
	192.168.2.1	自動表示		
	Endo_Lighting_GW_XXXXXX	自動表示		
	12345678	入力選択		
	10	自動表示	3	13

	XX:XX:XX:XX:XX	自動表示		
	X.XXX	自動表示		
	10	自動表示	0	13

	XX:XX:XX:XX:XX	自動表示		
	X.XXX	自動表示		
	10	自動表示	0	13

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイをコントローラの 時間に同期させる



「セットアップ」画面で[ゲートウェイ時刻同期]を押します。



- 現在のコントローラに設定された時間を元に設定する時は、「システム時刻」を選択し、ユーザーの任意の時間に設定するには、「システム時刻」のチェックを外したあと、時刻を入力します。
- [OK]を押すと同期化が完了します。
- 時間同期を行う理由は、ゲートウェイと時刻の同期を介して情報を正確に送受信するためであり、お互いの時間が異なる場合は、予期しない動作が発生したり、動作自体ができない可能性があります。
- 時間同期になっていない場合は[HOME]→[モニター]で確認することが可能であり、問題のあるゲートウェイは、赤色LEDが1秒点灯、1秒消灯で点滅を繰り返します。
- 2013年以前に設定すると、同期化をすることができません。

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイのWi-Fiパスワードを設定する



「セットアップ」から[リフレッシュ]を押すと、Wi-Fiパスワードの入力画面が表示されます。設定したパスワードが保存されています。そのまま [OK]を押してください。



認証が完了するとコントローラが自動的にゲートウェイリストを確認します。

この時、コントローラ内部に保存しているゲートウェイリストとゲートウェイが保存しているリストを比較して、それらが異なっている場合、「ゲートウェイリストをアップデートしますか?」のポップアップが表示されます。初回設定時のみ「No」を選択します。



ゲートウェイが2台以上の場合、以下の作業を台数分だけ実施する必要があります。

- ⑥リフレッシュ
- ⑦ゲートウェイリストアップロード
- ⑧ゲートウェイ設定

B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

ゲートウェイリストをアップロード/ ダウンロードする



ゲートウェイリスト アップロード

作成したゲートウェイリストを元に、システム内のゲートウェイ同士を連動させるためにゲートウェイリストアップロードを実行します。

「セットアップ」画面から[ゲートウェイリストアップ]を押すとポップアップが表示されます。Yesを押すと作業が完了します。



ゲートウェイリスト ダウンロード

ゲートウェイに保存されたゲートウェイリストをコントローラで使用するには”セットアップ”画面から[ゲートウェイリストダウン]を押してゲートウェイリストダウンロードを実行します。

新しいコントローラを導入するときなどに使用します。初期設定では通常使用しません。

システムIDの変更・登録

「セットアップ」画面から[システムID]を選択します。

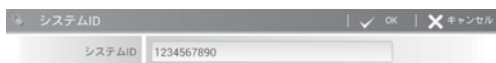
システムIDの登録画面が表示されます。

工場出荷時のシステムID「1234567890」がそのまま表示されます。

変更する場合は、10桁の半角英字と数字を入力して、[確定]キーで登録してください。

登録完了後、[HOME]を押して”HOME”画面に戻ります。

システムIDを変更する場合、LANに接続されているすべてのゲートウェイのシステムIDが変更されます



システムIDとは、ユーザーのタブレット型コントローラとユーザーのゲートウェイを一つのシステムとして特定化するための識別番号です。

ゲートウェイが近接する他のユーザーのコントローラと接続できないようにするために必要です。

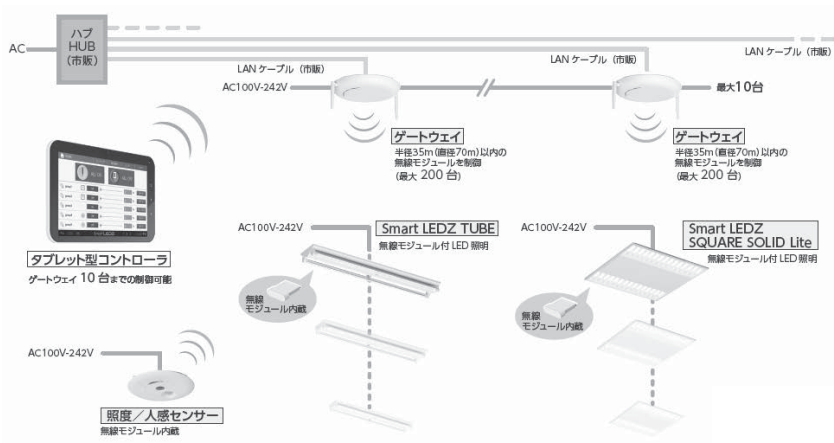
接続完了！

これで、Smart LEDZシステムを使用するための、最も基本となるコントローラとゲートウェイを接続、設定が完了しました。

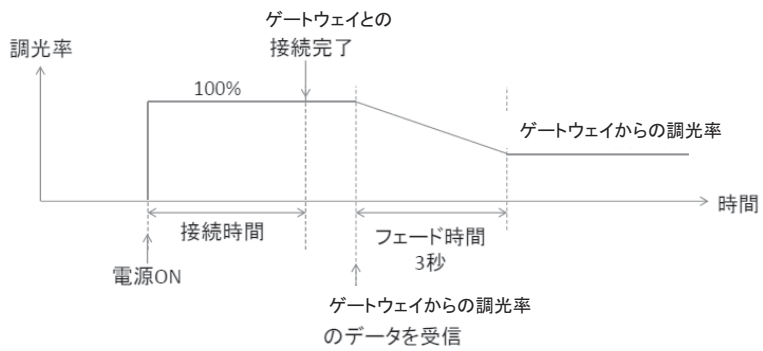


B	ゲートウェイ 設定
---	--------------

施工前のご注意



- ゲートウェイを2台以上制御する場合は、市販のハブ(電源供給)が必要になります。
- “ゲートウェイ、センサー”は“照明器具”とは別回路で施工してください。このとき、照明器具にはスイッチをつけてください。ゲートウェイ、センサーには、スイッチをつけないでください。(電源供給は、停止すること無く1日中供給できるように施工、運用してください)
- 本システムは、無線を利用した通信機器です。このため、一度電源をオフにして、再投入した時に通信復帰まで若干の接続時間が必要となります。本システムでは、このとき照明器具が点灯しない状態を回避するために、通信復帰までの間は、調光率の設定にかかわらず100%点灯する設計となっております。なお、この接続時間は、1台のゲートウェイに照明器具(無線モジュール)を最大200台接続した時に、1分程度必要となります。(照明器具 最大200台が同じスイッチ回路に接続された場合) 本システム最大2000台の照明器具が接続されている場合は、良好な通信環境で1分程度、通信環境によっては2分程度かかります。



システムの設置条件と通信距離

■スマートレズは、無線コントロールシステムのため、通信距離に制限があります。

ゲートウェイの標準通信距離は、半径35m(直径70m)となります。

[一般的な壁で隔たれていない開放空間での通信距離となります。]

障害物のない開放空間の場合は、標準以上の通信も可能ですが、環境によって異なるため下図の設置条件に沿って取り付けてください。

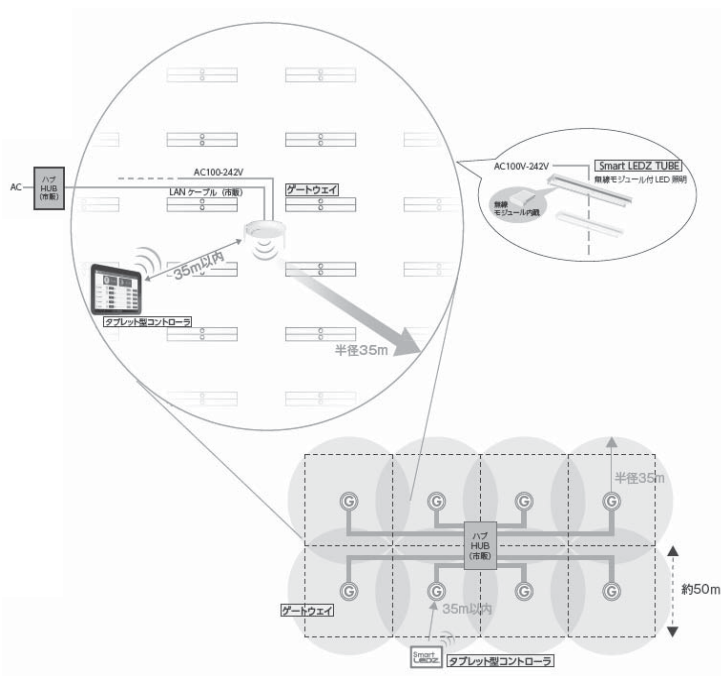
■タブレット型コントローラは、ゲートウェイとの距離 35m 以内に設置してください。

LANケーブルでハブにつながれた複数のゲートウェイがある場合は、いずれか1つのゲートウェイに対して必ず通信距離35m以内に設置してください。

電波を利用した通信のため、金属製の壁、コンクリート壁などで遮蔽された空間の場合は、電波がとどきません。

通信距離にかかわらず、ゲートウェイを設置してください。照明器具の取付面や、天井材が金属製の場合、通信ができません。

(ワイヤレスモジュールが露出したタイプは除く)



C	図面登録
---	------

図面の取り込み

Smart LEDZは、図面上に照明シンボルをレイアウトすることができます。

レイアウトされた照明シンボルは、コントローラで照明器具を配置することで照明制御操作スイッチの機能を持たせることができます。

まずは、照明シンボルをレイアウトするために図面を登録します。

図面は基本図形を含めて32個まで登録することができます。(001-031)

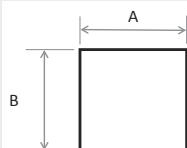
1: 基本図形から選択する

タブレット型コントローラにあらかじめ基本図形が保存されています。

工場出荷状態では、基本図形10種類がすでに登録されています。

使用していない基本図形は、削除することも出来ます。

基本図形



図番	図面名	図面ID	図面ID
01	Layer: 01-01	01	01
02	Layer: 01-02	02	02
03	Layer: 01-03	03	03
04	Layer: 01-04	04	04
05	Layer: 01-05	05	05
06	Layer: 01-06	06	06
07	Layer: 01-07	07	07
08	Layer: 01-08	08	08
09	Layer: 01-09	09	09
10	Layer: 01-10	10	10
11	Layer: 01-11	11	11
12	Layer: 01-12	12	12
13	Layer: 01-13	13	13
14	Layer: 01-14	14	14
15	Layer: 01-15	15	15
16	Layer: 01-16	16	16
17	Layer: 01-17	17	17
18	Layer: 01-18	18	18
19	Layer: 01-19	19	19
20	Layer: 01-20	20	20
21	Layer: 01-21	21	21
22	Layer: 01-22	22	22
23	Layer: 01-23	23	23
24	Layer: 01-24	24	24
25	Layer: 01-25	25	25
26	Layer: 01-26	26	26
27	Layer: 01-27	27	27
28	Layer: 01-28	28	28
29	Layer: 01-29	29	29
30	Layer: 01-30	30	30
31	Layer: 01-31	31	31
32	Layer: 01-32	32	32

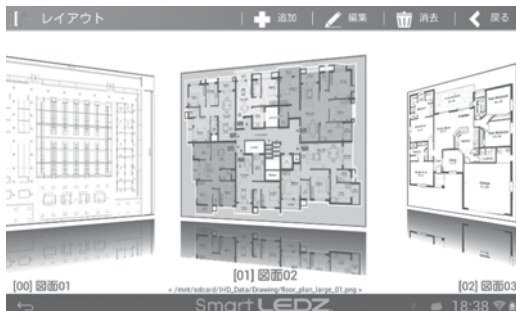
2: 空間図面データを取り込む

空間図面がある場合は、その図面データをパソコンから取り込むことができます。

タブレット型コントローラには、マイクロSDカード(別売)用のスロットとマイクロUSBポートがあります。

ユーザーのパソコンから図面データをマイクロSDカードか付属のマイクロUSBコードを介してタブレット型コントローラに取り込むことができます。

- ・マイクロSDカードに図面を保存するときには、任意の場所に保存してください。
- ・USBポートを介してコントローラ内部に保存するときには、/IHD_Data/Drawingフォルダに保存してください。



レイアウト図面の作成 【SLエディター】

3: 別ソフトでシンボルレイアウト済み図面(レイアウト)を取り込む

ユーザーのパソコン(Windows)で、空間図面にあらかじめシンボルをレイアウトできる専用オリジナルソフト、【SLエディター】を準備しています。

【SLエディター】には、照明シンボルの単体配置以外に直線配置や格子配置など、たくさんの照明シンボルを簡単にレイアウトできる機能が含まれています。

照明シンボルの基本パターン(形状や大きさ)も選べ、色を設定することも可能です。

ゲートウェイ用シンボルとセンサー用シンボルもレイアウト可能です。

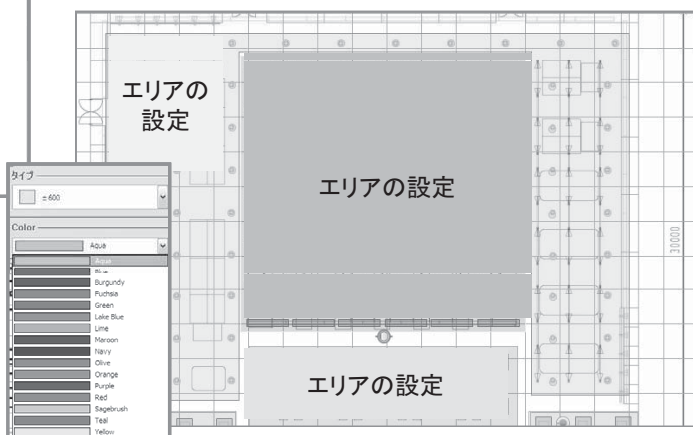
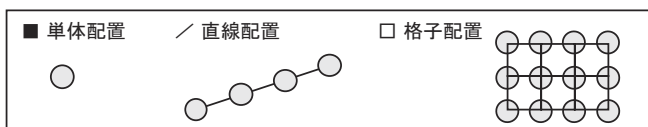
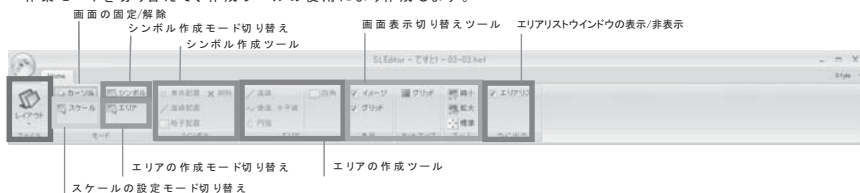
センサー用シンボルは照明シンボルと同じく制御スイッチ機能として設定可能です。

(ENDOホームページからダウンロードできます。無料)

- ・マイクロSDカードに図面を保存するときには、任意の場所に保存してください。
- ・USBポートを介してコントローラ内部に保存するときは、/IHD_Data/Drawingフォルダに保存してください。

■ 作成関連画面ツール

作業モードを切り替えて、作成ツールの使用により作成します。



C	図面登録
---	------

図面を登録する



図面を登録するためには、【「セットアップ」画面】から [レイアウト] を押します。



SLエディターで作成したファイルの使用をおすすめします。図面イメージ上に照明器具/センサー/ゲートウェイのシンボルを配置したもので、拡張子は sli(イメージデータ)、sle(シンボルデータ)です。

図面(レイアウト)は USB ケーブル、Micro SD カードなどを通じて、あらかじめコントローラに転送する必要があります。

コントローラに新規の図面登録をするため、[追加]を押します。



C	図面登録
---	------

図面を登録する



レイアウト名を入力して”イメージ”フィールド右側の[検索]を押して、図面ファイルを選択します。



図面ファイルのファイル名は“Filename_XX.png”のような形式にする必要があります。(XXは数字を入力します。) そうしない場合には、ファイルの選択ができません。

図面ファイルのサポートの拡張子は jpg, bmp, png で1MB以下のサイズを推奨します。

一般的なイメージと【SLエディター】で作業したイメージを区別するために、【SLエディター】で作業したイメージ(レイアウト)は、拡張子がsliになっています。【SLエディター】で作成したイメージを使用することをおすすめします。

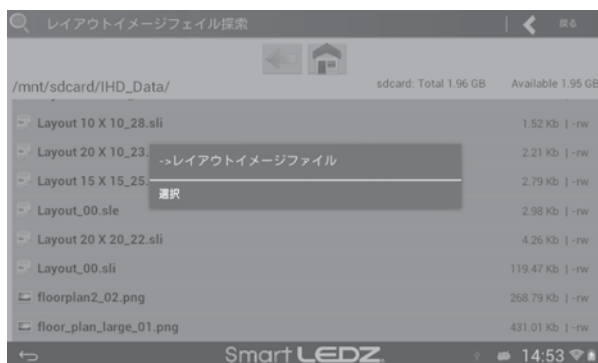
必要な図面ファイルを長押しすると選択のためのポップアップメニューが現れます。

- SDカードの場合、mnt/external_sdフォルダに保存されています。
- USBポートを介してコントローラ本体に入れた場合、IHD_Date/Drawingフォルダに保存されています。

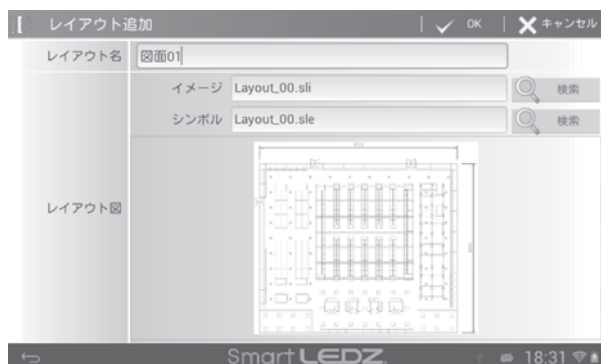
C	図面登録
---	------

図面を登録する

ポップアップメニューで [選択] を押し、そのファイルが選択され、表示されます。



【SLエディター】で作業したレイアウト図面のイメージの sli ファイルとシンボルの sle ファイルは、同期のために同じ名前にする必要があります。

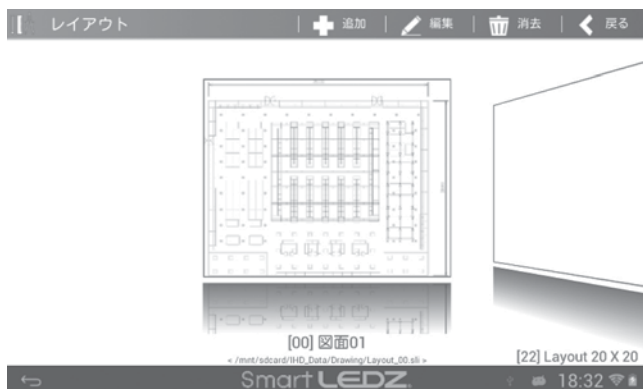


C	図面登録
---	------

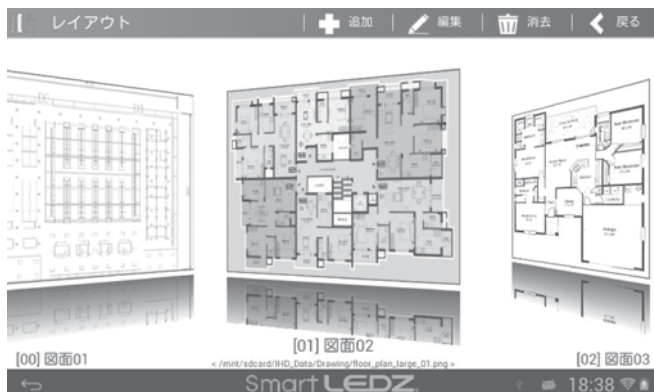
図面を登録する



[OK]を押すと登録が完了します。



同様に必要な図面を全て登録します。図面は32個まで登録可能です。



E

照明シンボル
・ゲートウェイ
センサー接続

照明配置 シンボルにデバイスを配置する



レイアウト上のシンボルに、各デバイス（照明器具/センサー/ゲートウェイ）を配置します。
レイアウト図面がないと各デバイスの配置や設定をすることができません。
事前にレイアウト図面を用意してください。

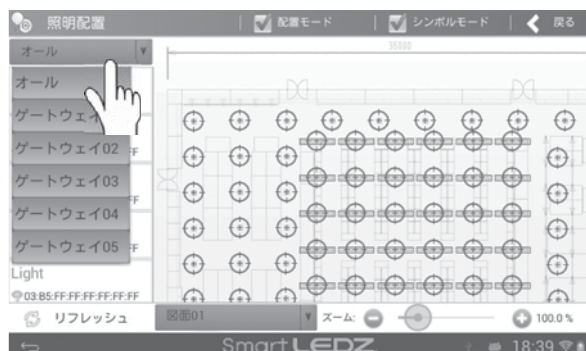
「セットアップ」画面 から [照明配置] をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



図面が表示される全ての画面はマルチタッチで簡単にズームイン/ズームアウトができます。

左側には、現在のゲートウェイと接続されている全ての各デバイスのリストが表示されます。

左上のコンボボックスをクリックすると、各々のゲートウェイを選択できます。
[オール]を選択すると全てのゲートウェイとなります。



E

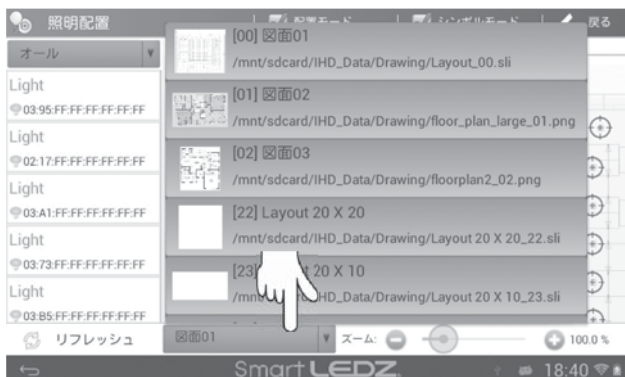
照明シンボル
・ゲートウェイ
センサー接続

照明配置 シンボルにデバイスを配置する



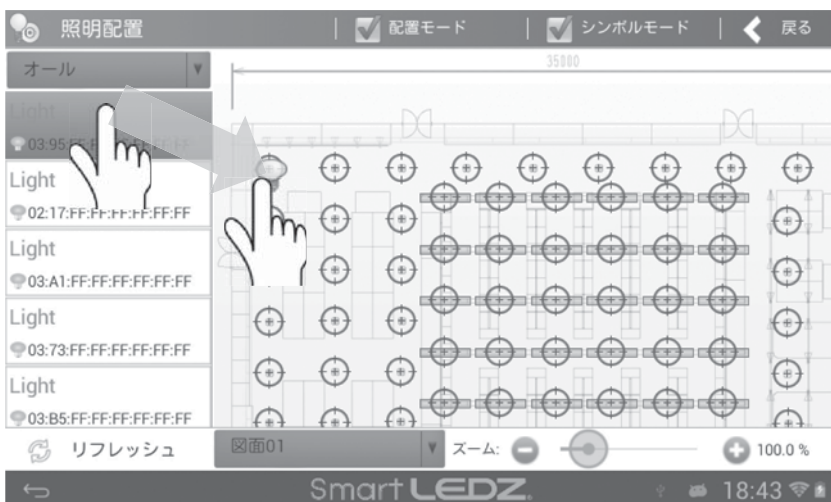
左側のリストでグレーのアイコンは、デバイスが未だ配置されていないデバイスを意味し、色のついたアイコンは、配置されていることを意味します。

下部のコンボボックスを押して図面を選択します。



左側のデバイスリストで配置しようとする照明器具を押すと、実際の現場で照明器具が点滅され、これにより、照明器具の実際位置が確認できます。

照明器具の位置が確認できたら、左側のデバイスリストの照明器具を長押しして、右側のレイアウト図面上の目的のシンボルにドラッグ&ドロップして配置します。

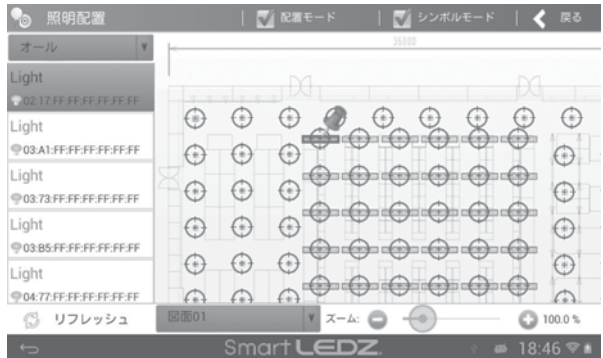


E 照明シンボル
・ゲートウェイ
センサー接続

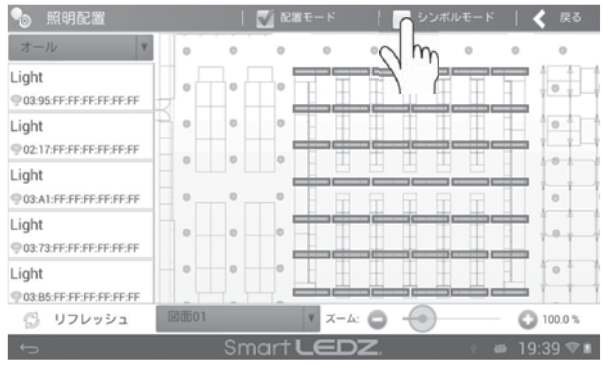
照明配置 シンボルにデバイスを配置する



ここで配置されたデバイスには「ゲートウェイ設定」で設定した“ネットワークID”が割り当てられます。
(逆に図面上でリストにドラックすると、デバイスの“ネットワークID”は初期値に戻ります。)



以上の手順を繰り返して、全てのデバイスをシンボルに配置していきます。
右上のシンボルモードのチェックボックスを押すと、図面上に配置されたシンボルを表示/非表示することができます。



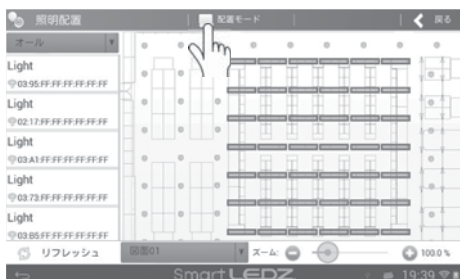
照明配置

配置したデバイスの詳細設定をする



右上の配置モードを解除して、各デバイスを長押しすると、そのデバイスの詳細設定を行うことができます。

*ゲートウェイは配置することはできませんが、この画面で設定できません。ゲートウェイの設定は、「ゲートウェイ設定」画面で行います。



照明の詳細設定

照明器具(無線モジュール)の詳細設定ができます。

右側に[編集]ボタンがある項目のみ変更、設定が可能です。

- ネーム : 照明デバイスの名前を表示します。
- 照明 : 照明をON/OFFします。
- 調光 : 照明の明るさを調節することができます。
- 上限調光 : 上限調光率を表示します。
- 下限調光 : 下限調光率を表示します。(0% 5-100%)
- 送信強度 : 信号強度を表示します。
- フェードタイム : 照明がOFFするまでかかる時間を表示します。
- 上限調光率制御 : 初期照度補正の状態が表示されます。



グループリストの「一括処理制御」で設定できます。

初期上限調光率 : 初期照度補正の初期の調光率を表示します。グループリストの「一括処理制御」で設定できます。(50%-100%)

運営時間 : 各々の無線モジュールの積算時間を表示します。

グループリストの「一括処理制御」の「運営時間」で任意に設定できます。

上限調光率時間 : 調光100%になるまでの時間を表示します。

グループリストの「一括処理制御」で設定できます。

グループ : 照明器具が現在属しているグループを表示します。

リポート : 照明器具の無線モジュールを再起動します。

初期工場出荷状態リセット : 照明器具の無線モジュールを工場出荷時の状態に戻します。

照明配置

配置したデバイスの詳細設定をする



センサーの詳細設定

照度・人感センサーの詳細設定ができます。

右側に[編集]ボタンがある項目のみ変更、設定が可能です。



センサー名 : センサーの名前を表示します。

人感ディレイタイム : 人体検知の保持時間です。

人体検知後、

人が存在すると判断するまでの時間です。

例えば、5秒に設定すると、人体検知して5秒後に初めて人が存在していると判断、処理します。

人感感度 : 人感センサー感度です。1～15のレベルがあり、1に近い数のほうが感度が良くなります。

照度感度 : 照度センサー感度です。1～15のレベルがあり、1に近い数のほうが感度が良くなります。

データ更新間隔 : 照度センサーが感知した照度情報をゲートウェイに送信する周期です。(5～2550秒)
工場出荷状態は5秒に設定されています。

表面反射率 : センサー下面の反射率を設定します(1～100%)。照度値設定する場合、明るさ検知の値と、照度計で測定した実測値との割合を設定します。(反射率＝明るさ検知÷実測照度値)

グループ : センサーが現在属しているグループを表示します。

自己テスト : 照度センサー機能の自己テストができます。照度センサーに入射される光束に対応して照明器具が明るくなったり、暗くなったりします。

キャリブレーション : 照度センサーの感度を調整して、自動的に適切な照度維持のため設定します。

コントローラは照度変化に対するセンサー感度を床、机の上面の反射率に合わせて調整します。
Smart LEDZシステムのインストール直後や建物のレイアウトの変更をした場合、実際に使用される環境では、昼光の影響を受けない夜間に設定してください。

リポート : センサーを再起動します。

初期工場出荷状態リセット : センサーを工場出荷時の状態に戻します。

F	照明グループ 設定
---	--------------

照明グループリストを作成する



ここでは、照明とセンサをグループ化する方法を説明します。グループには照明グループとセンサグループがあります。ここで作成したグループにスケジュールを割り当てることで、スケジュール通りに動作させることができます。

“セットアップ”画面から[グループリスト]を押して作成画面に移動します。



12

あらかじめ“ALL”グループが設定されています。これは、すべての照明器具のグループです。(センサは除く)

この“ALL”グループは編集することはできませんが、削除することはできません。



F	照明グループ 設定
---	--------------

照明グループリストを作成する



[追加] または[編集]を押します。「照明スケジュール追加」または「照明スケジュール編集」画面が表示されます。



グループ追加		✓ OK ✕ キャンセル
グループ名	照明グループ	
グループタイプ	<input checked="" type="radio"/> 照明グループ <input type="radio"/> センサグループ	
スケジュール設定	<input checked="" type="checkbox"/> 毎日 無し	
	<input type="checkbox"/> 曜日	
	<input type="checkbox"/> 期間/特異日	
デフォルトパターン	無し	
フェード時間	0 秒	



“グループ名”を入力します。
 “グループタイプ”で“照明グループ”または“センサグループ”を指定します。
 “スケジュール設定”では、毎日、曜日、期間/特異日の3種類が設定できます。
 この3種類は複数選択することができます。複数選択された場合、
 スケジュールの優先順位は、期間>曜日>毎日の順位となります。
 * “スケジュール設定”の詳細については、次ページ以降に説明します。
 “パターン初期設定”は、スケジュール設定でスケジュールパターンを設定していない
 日のスケジュール/パターンです。
 “デフォルトフェード時間”で、照明スケジュールで、シーンが変わる時のフェード時間
 が設定できます。(0~255秒 調光率10%変化当たり)

[OK]を押すとグループ作成が完了します。
 「グループリスト」画面]に登録したグループが表示されます。

グループは、最大1000個まで登録可能です。

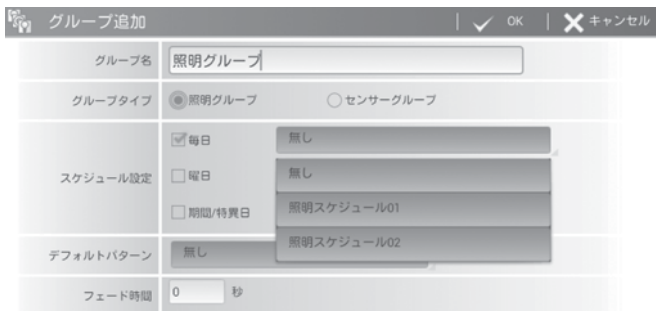
F	照明グループ 設定
---	--------------

スケジュール設定 毎日選択 と 曜日選択



毎日選択：ドロップダウンリストから、スケジュールを選択します。

曜日、期間/特異日も設定された時には、曜日、期間/特異日が優先されます。
期間/特異日>曜日>毎日



曜日選択：曜日ごとに異なったスケジュールを選択することができます。
曜日選択のチェックボックスにチェックを入れると、右側に編集ボタンが表示されます。
編集ボタンからポップアップを表示させ曜日ごとにスケジュールを選択します。

期間/特異日も設定された時には、期間/特異日が優先されます。
期間/特異日>曜日>毎日



F	照明グループ 設定
---	--------------

スケジュール設定 期間/特異日



期間/特異日設定：1日以上の期間を設定し、それぞれ異なったスケジュールを30個まで設定できます。

期間/特異日設定にチェックボックスにチェックを入れると、右側に編集ボタンが表示されます。

編集ボタンから期間/特異日リストに移動します。

追加ボタンを押すとポップアップが表示されますので、開始日、終了日、スケジュールパターンを設定し[OK]を押します。



編集ボタンから期間/特異日リストに移動します。追加ボタンを押すとポップアップが表示されます。

開始日、終了日、スケジュールパターンを設定し[OK]押します。



F	照明グループ 設定
---	--------------

スケジュールをプレビューで確認する



グループで設定しているスケジュールは、“グループリスト”画面でプレビューで確認できます。

“セットアップ”画面から[グループリスト]を押します。



「スケジュール設定 毎日」または「デフォルトパターン」のフィールド右側の[プレビュー]ボタンを押します。

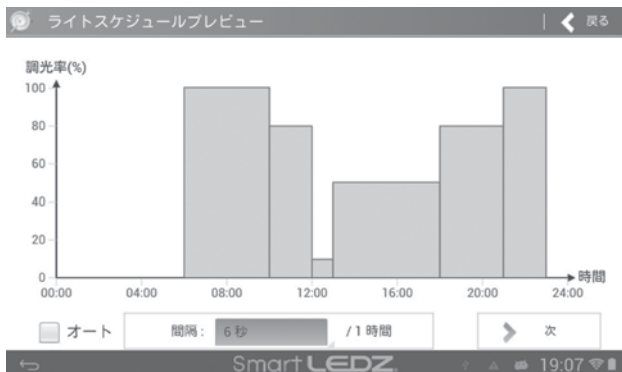
“ライトスケジュールプレビュー”画面が表示されます。

オート・プレビュー : 左下の[オート]を押すとチェックボックスにチェックが入って、自動でスケジュール運転を開始します。

このときの時間短縮の割合は、6秒、12秒、30秒、60秒から選択できます。

マニュアル・プレビュー : もう一度[オート]を押して[オート]のチェックボックスのチェックを外した状態で、右下の[>次]を押すと次のシーンに切り替わります。

押すたびごとに次のシーンに切り替わっていきます。



F	照明グループ 設定
---	--------------

スケジュールをプレビューで確認する



「スケジュール設定 曜日」と「スケジュール設定 期間/特異日」のフィールド
右側の[プレビュー]ボタンを押すと、それぞれ、下のような画面が表示されます。

[プレビュー]ボタンを押すと、「ライトスケジュールプレビュー」画面が表示され、
同様にオート・プレビュー、マニュアル・プレビューすることができます。



12



F	照明グループ 設定
---	--------------

初期照度補正の設定

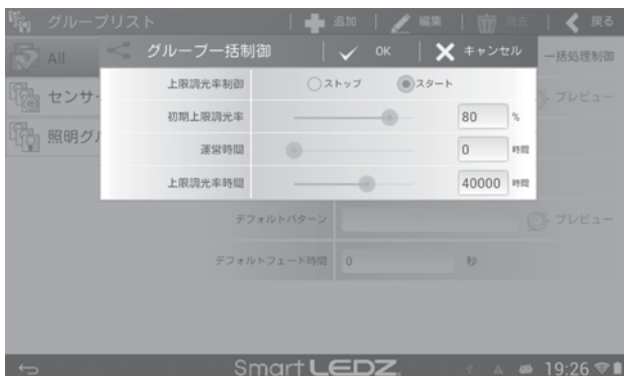


初期照度補正により、余分な明るさをカットして設計照度を保ち、消費電力を抑えることができます。

初期照度補正を設定するには、グループ一括処理制御の機能を利用します。グループリスト画面のグループタイプの右側の”一括処理制御”を押します。



グループ一括制御のポップアップが表示されますので、各項目を入力します。



- 上限調光率制御: 初期照度補正を実施するかどうかを設定します。
スタートで初期照度補正機能が働きます。ストップを押すと、初期照度補正機能が停止するとともに、積算時間も停止します。
- 初期上限調光率: 初期の調光率を設定します。(50%-100%)
- 運営時間: 最後に制御した無線モジュールの積算時間が表示されます。
任意の時間を入力してリセットすることもできます。
例えば、照明器具の交換の時に積算時間を0時間にリセットします。
- 上限調光率時間: 調光100%になるまでの時間を設定します。

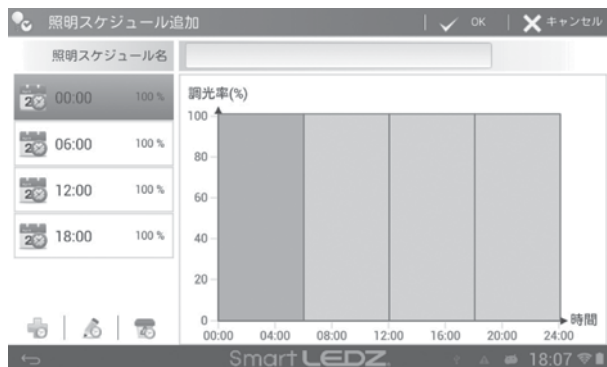
G	照明 スケジュール 設定
---	-----------------------------

照明スケジュール作成



照明グループで使用する照明スケジュールを作成します。
24時間スケジュールに照明スケジュールを入れていきます。
「セットアップ」画面から[照明スケジュール]を押して作成画面に移動します。

[追加]または[編集]を押します。「照明スケジュール追加」または「照明スケジュール」「編集」画面が表示されます。
[追加]の場合、あらかじめ設定された4個のシーンが表示されます。



“照明スケジュール名”を入力します。
左下の[+]アイコンを押すと開始時間と調光率が入力できます。

開始時間は5分単位で設定します。
[鉛筆]アイコン、「ごみ箱」アイコンで、シーンを編集、削除することができます。



[OK]を押します。【「照明スケジュール」画面】に登録したシーンが表示されます。
照明スケジュールは、最大20個まで登録可能です。

H	センサー 設定
---	------------

照度・人感センサの センサーシーンの設定



センサースケジュールを作成する時に必要なセンサーシーンを作成します。
「セットアップ」画面から[センサーシーン]を押して、センサーシーンを作成することができます。

センサーシーンはセンサースケジュール作成時に必要になりますので、
事前に作成しておく必要があります。



[追加]または[編集]を押します。
「センサーシーン追加」または「センサーシーン編集」画面が表示されます。



“センサーシーン名”に名前を入力します。
次に、“照度センサ設定”、“人感センサー設定”、“目標調光率”、“オプション”を設定してください。
詳細は、次ページ以降の「センサーシーンの各項目の説明」をご参照ください。

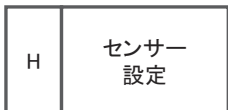
H	センサー 設定
---	------------

照度・人感センサーの センサーシーンの設定



[OK]を押します。【「センサーシーン」画面】のリストにセンサーシーン名が表示されます。

センサーシーンは、最大10個まで登録できます。



センサーシーンの各項目の説明



照度センサー設定

- ・上限調光率：明るさの上限值
- ・下限調光率：明るさの下限値
- ・フェード時間：目標照度に变化する時間

人感センサー設定

- ・パターン選択：4つのパターンを選択することができます。
不在制御なし(人感センサーオフ) 不在消灯パターン、不在省エネパターン、不在残置パターン
- ・保持時間：人の不在を検出してからフェードを始めるまでの時間(0～2550秒)
- ・フェード時間：不在フェード時間(0～255秒 調光率10%変化当たり)
- ・不在調光率：不在省エネパターンを選択した時に、消灯するまでの明るさ
- ・ディレイ時間：不在省エネパターンを選択した時に、不在調光率で点灯している時間(0～2550秒)

目標調光率

- ・パターン選択：オフ, オン(Lux), オン(%)
- ・目標照度(Lux)：パターン選択がオン(Lux)の場合の目標照度
- ・目標調光率(%)：パターン選択がオン(%)の場合の目標調光率

オプション

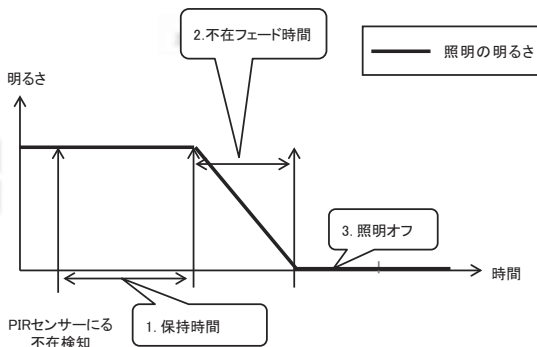
- ・照度センサー：照度センサー機能のオン、オフを設定。オンの時、目標照度よりもとの程度明るくなったら消灯するかを入力します。例えば、150%に設定すると、目標照度が1000Luxの場合、照度センサーが 1500Luxを検知すると消灯します。
- ・人感センサー：人感センサー機能のオン、オフを設定。オンの時、目標照度に対してどの程度明るかったら点灯しないかを入力します。例えば、50%に設定すると、目標照度1000Luxに対して、500Lux以上の場合、人を検知しても点灯しません。

H	センサー 設定
---	------------

センサーシーンの各項目の説明

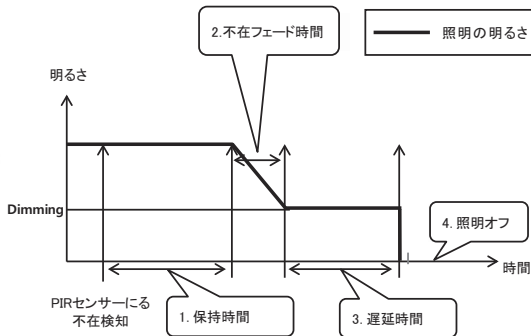
・人感センサ設定が [不在消灯パターン] の場合

パターン選択	<input type="text"/>
保持時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
フェード時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
調光率	<input type="text"/> %
遅延時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒



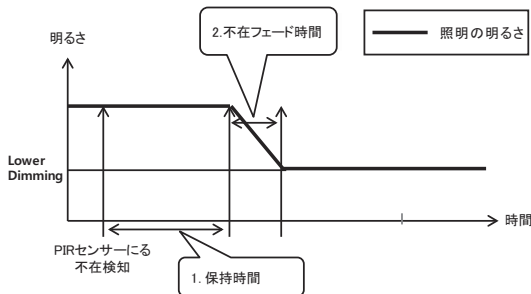
・人感センサ設定が [不在省エネパターン] の場合

パターン選択	<input type="text"/>
保持時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
フェード時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
調光率	<input type="text"/> %
遅延時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒



・人感センサ設定が [不在残置パターン] の場合

上限調光率	<input type="text"/> %
下限調光率	<input type="text"/> %
フェード時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
パターン選択	<input type="text"/>
保持時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
フェード時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒
調光率	<input type="text"/> %
遅延時間	<input type="text"/> 分 <input type="text"/> 秒



H	センサー 設定
---	------------

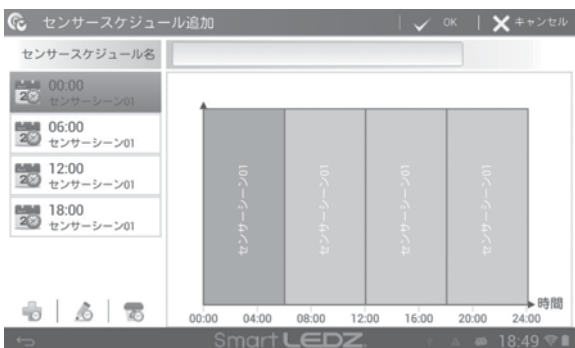
センサースケジュール作成



15

センサーグループで使用するセンサスケジュールを作成します。
24時間スケジュールにセンサーシーンをに入れていきます。
(センサーシーンは事前に作成する必要があります)
「セットアップ」画面から[センサースケジュール]を押して作成画面に移動します。

[追加]または[編集]を押します。「センサースケジュール追加」または
「センサースケジュール編集」画面が表示されます。
[追加]の場合、あらかじめ設定された4個のシーンが表示されます。



“センサースケジュール名”を入力します。
左下の[+]アイコンを押すと開始時間とシーンが入力できます。
開始時間は5分単位で設定できます。
[鉛筆]アイコン、「ごみ箱」アイコンで、センサーシーンを編集、
削除することができます。



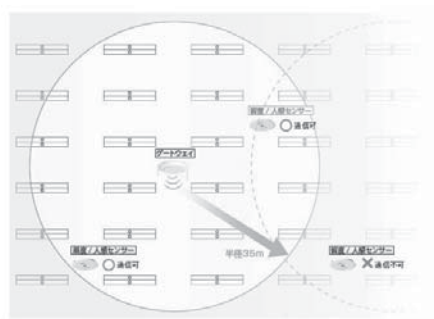
[OK]を押します。【「センサースケジュール」画面】に登録した
センサーシーンが表示されます。
センサースケジュールは、最大20個まで登録可能です。

H	センサー 設定
---	------------

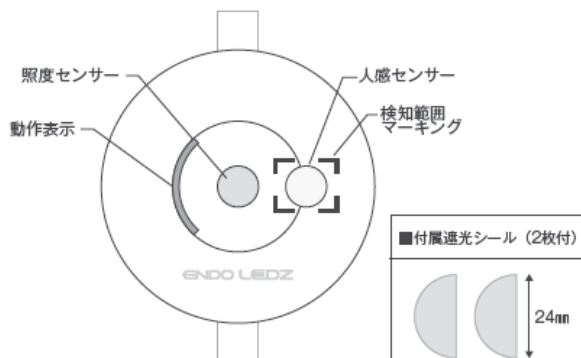
照度・人感センサの仕様と性能

照度／人感センサーは、2種類の機能を兼用できるタイプとなります。無線モジュール機能が内蔵されているため、スマートレッズ器具と同様にゲートウェイから半径35m(直径70m)の範囲内に設置してください。

（例えば、ゲートウェイ1台に対して無線モジュールは最大200台制御可能となります。
照度／人感センサーを2台使用する場合は、無線モジュール付器具、ランプユニットは最大198台となります。）



■照度／人感センサー部分の名称

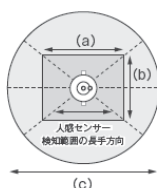
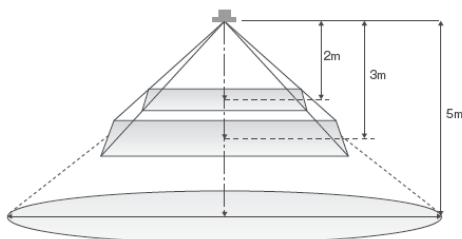


照度・人感センサーの仕様と性能

■人感センサー機能検知／設置範囲

人感センサー検知範囲には方向性があります。

取付時には検知範囲マーキングの方向をご確認ください。



(検知可能範囲)

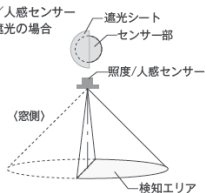
単位:m

高さ	2m	3m	5m
長手方向(a)	5	7.5	—
短手方向(b)	4.4	6.6	—
直径(c)	—	—	10

■遮光シールで検知エリア制限

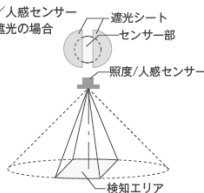
[図2]

・照度／人感センサー
片側遮光の場合

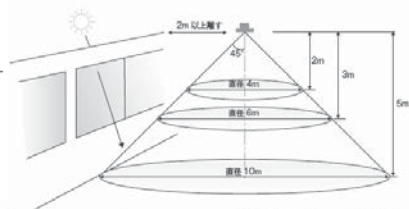


[図3]

・照度／人感センサー
両側遮光の場合



■照度センサー機能検知／設置範囲



検知可能照度 (lx)	0~4900lx
照度センサー取付位置	壁から2m以上離す。 (外光窓がある場合)

※照度センサーが壁際から2m以内の場合は[図2]のように遮光シールによって制限してください。

	センサー感度	検知条件
照度センサー機能	15段階調整可能 (出荷時設定:レベル5)	・0~4900lx ・外光窓から2m以上離して設置 ・外光窓から2m以内の場合は遮光シールを貼ってください。
人感センサー機能	15段階調整可能 (出荷時設定:レベル6)	・高さ3.0mの場合の人感センサー検出対象の条件 ・人体 ・周囲との温度差は4℃以上 ・移動速度は0.3~2.0m/s ・人の体温が約36℃であるため、周囲温度が32℃以上になると、人を感じていない場合もある

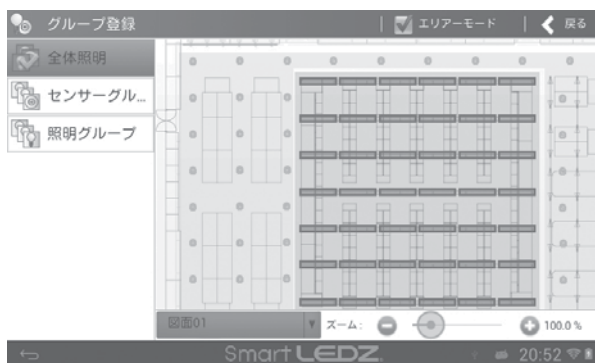
グループ登録

グループに照明器具/センサーを割り当てる



各々のグループに照明器具/センサー(シンボル)を割り当てます。

*この作業の前に「セットアップ」画面から [グループ登録] を押して図面上に配置された照明器具 / センサーのグルーピング作業のための画面に移動します。



左のリストからグループを選択します。

ここで、照明器具/センサーをグループに割り当てる方法は二つがあります。

①エリアモード

上にあるエリアモードのチェックボックスにチェックが入っているか確認します。

図面上に青色で描かれているエリア内を長押しすると、エリア内に属する全ての照明器具が選択しているグループに含まれます。(エリアはSLエディターで作成することができます)

②個別モード

エリアモードのチェックボックスを解除して、個別の照明器具/センサーを長押しすると、自動的に選択しているグループに含まれます。

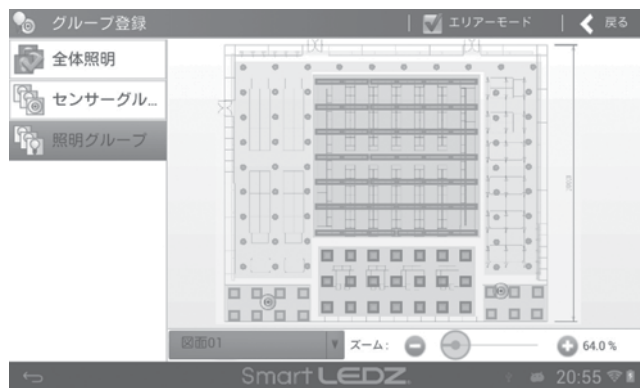
照明器具/センサーをグループから解除するには、エリア、または個別の照明器具/センサーを長押しすると、グループから除外することができます。

グループ登録

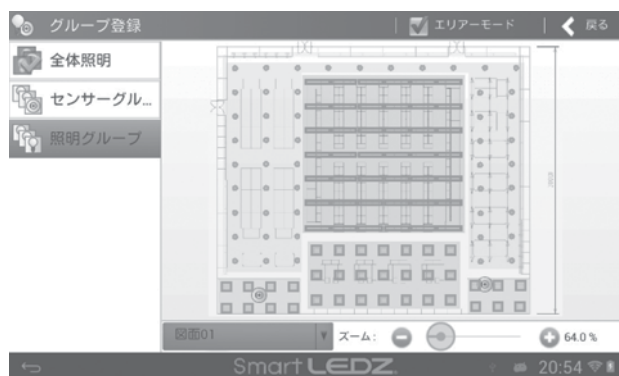
グループに照明器具/センサを割り当てる



グループの照明器具/センサーは、同じ色で表現され、含まれていないデバイスは、グレーで表示されます。下の画面は、選択している照明グループに21台の照明器具が含まれていることを示します。



下の画面は照明グループに照明器具が1台も含まれていない画面です。



以上の手順を繰り返してグルーピング作業を完了させます。

システムに関する設定



17



18



20

1. SmartLEDZアップデート

SmartLEDZアプリケーションをアップグレードします。

2. ファームウェアアップグレード

セットアップ画面の[ファームウェアアップグレード]を押します。

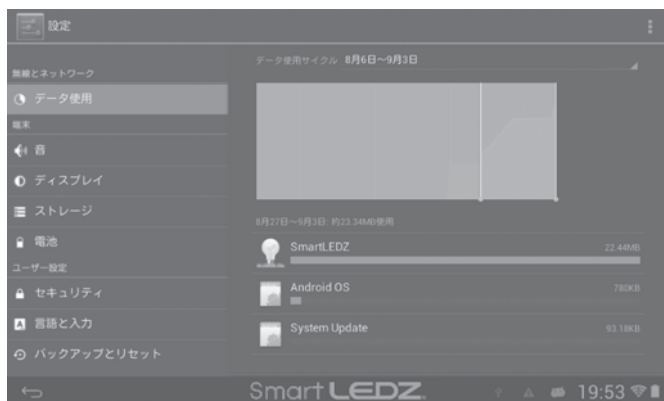
ZIPファイルで提供されるゲートウェイ、センサ、無線モジュール

(照明器具、LEDモジュールに内蔵)の各情報をアップグレードします。

3. システムセットアップ

セットアップ画面の[システムのセットアップ]を押します。

コントローラを設定する画面です。入力言語、明るさ、ボリュームなどを設定することができます。



I その他
詳細設定

システムに関する設定 入力言語の設定



入力言語の変更方法

[言語と入力]タブに移動して、右側の[デフォルト]を選択します。



日本語を入力するには、[nicoWnnG IME]を選択します。

リストの一番下の[入力方法をセットアップ]をクリックすると、詳細設定ができます。

日本語入力は[nicoWnnG IME]を使用しており、Apache License 2.0の
Open Sourceポリシーに準拠します。



I その他
詳細設定

システムに関する設定 表示言語の設定



表示言語の変更方法

[言語と入力]で言語を選択します。



変更する言語を選択します。Smart LEDZ システムは日本語と英語にのみ対応しています。

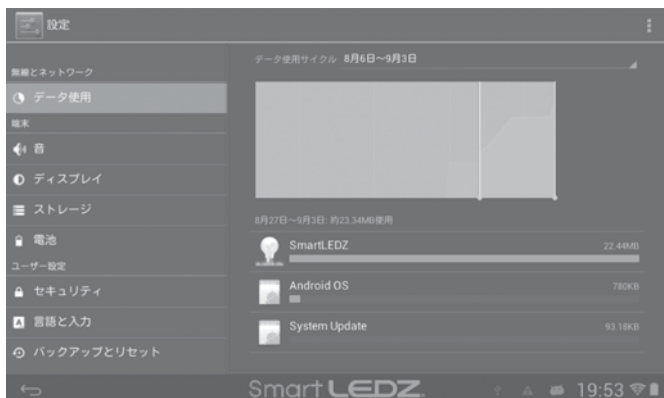
(例えば、中文を選択しても、コントローラの表示は、英語となります。)



表示言語を変更すると、コントローラは自動的に再起動されるため、ゲートウェイに再接続する必要があります。

I	その他 詳細設定
---	-------------

システムに関する設定 その他の設定



- データ使用 : 特定期間のWi-Fiパケット通信の状況を見ることができます。
- 音 : 音量、通知音、アラーム音の調整ができます。
- ディスプレイ : 画面の明るさ調整、スリープ調整ができます。
- ストレージ : メモリー容量・空き容量の確認ができます。
- 電池 : 電池残量の確認ができます。
- セキュリティ : 提供元不明のアプリのインストールを許可するか選択できます。
- バックアップとセキュリティ : データのバックアップ設定、初期化ができます。
- 日付と時刻 : 日付・時刻及び表示設定ができます。
- ユーザー補助 : 画面の自動回転が設定できます。
- 開発者向けオプション : 開発者が使用するメニューです。
一般ユーザーは使用できません。
- タブレット情報 : タブレットのバージョン情報が確認できます。



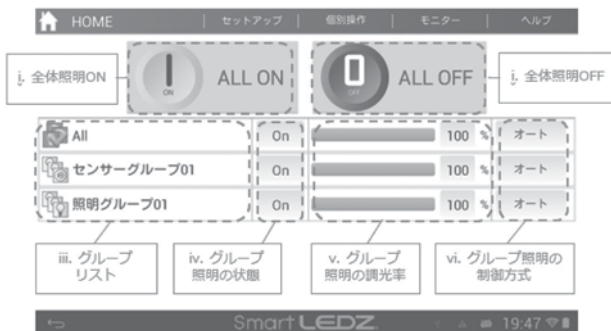
マニュアルでON/OFFしたり、調光を制御する



各種設定された照明/センサーを制御(使用)する画面は二つあります。

HOME画面と個別操作画面です。

① HOME 画面：グループ制御



- i. ALL ON(全体照明 ON) : システムに接続されている全ての照明をONにします。
- ii. ALL OFF (全体照明 OFF) : システムに接続されている全ての照明をOFFにします。
- iii. グループリスト : ユーザーが作成したグループリストが表示されるエリアです。
複数の設定がある場合、下部にプルダウンすることで表示します。
- iv. グループ照明の状態 : グループに属している照明のON/OFFを表示します。
- v. グループ照明の調光率 : グループに属している照明が現在どのくらいの調光率かを表示します。
- vi. グループ照明の制御方式 : スケジュールによる自動モードか、ユーザーが直接制御するマニュアル方式かを表示します。
- vii. グループ制御状態を変更するには、変更したいグループを押します。

※オートモードでは、照明の調光率を変更することができません。マニュアルモードに変更した後、調光率を変更することができます。変更したいグループを押してポップアップを表示させモードを切り替えます。



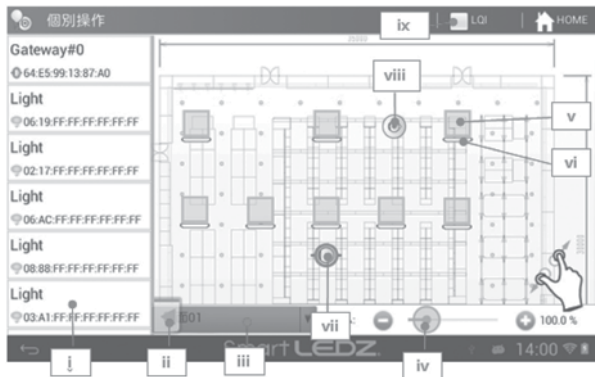


マニュアルでON/OFFしたり、調光を制御する



②個別操作画面：個別に照明(デバイス)制御

HOME画面の[個別操作]を押します。個別操作画面が表示されます。



- i. 照明器具(無線モジュール)、センサーのデバイスリストを表示する画面です。
- ii. デバイスリストを表示/非表示するボタンです。
- iii. 図面を変えられるコンボボックスです。
- iv. スライドバーの動きで図面を拡大/縮小することができます。
- v. 照明であることをシンボルで表示します。
- vi. 照明の調光率がどの程度かをバーグラフで表示します。
- vii. ゲートウェイの位置を表示します。
- viii. センサーの位置を表示します。
- ix. LQI(Link Quality Indicator)：照明器具/センサーなどデバイスの信号強度を表示します。
- x. 照明デバイスを長くクリックすることにより、調光率を直接調節することができます



K	モニタリング 画面
---	--------------

通信状態をモニターする



「HOME」画面の[モニター]を押します。

各ゲートウェイ・センサー・器具(無線モジュール)の通信状態をモニタリングします。

異常がある場合、モニタリング画面に表示します。

[詳細]を押すと、どのデバイスに異常があるかを確認することができます。

モニタリング			HOME
	合計	正常	無効 (RTC エラー)
ゲートウェイ	5	1	4 詳細
センサー	20	20	0 詳細
器具	180	180	0 詳細



モニタリング			HOME
ゲートウェイ無効 (RTC エラー)			閉じる
ゲートウェイ	ゲートウェイ02	14:7D:C5:04:6E:42	詳細
ゲートウェイ	ゲートウェイ03	00:0C:43:30:52:D8	詳細
ゲートウェイ	ゲートウェイ04	06:0E:47:01:11:A2	詳細
ゲートウェイ	ゲートウェイ05	0E:0E:47:01:11:A0	詳細



K モニタリング画面

通信状態をモニターする



コントローラに接続されているゲートウェイとの通信が切断された場合は、モニター画面には表示されません。このとき、ゲートウェイからの通信が切断された情報を取得することができません。

このような場合には、右下のゲートウェイとの接続が切断されたことを表示する別のアイコンがアラームと一緒に表示されます。

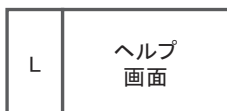
モニタリング			HOME
	合計	正常	無効 (RTC エラー)
ゲートウェイ	5	0	5 詳細
センサー	20	20	0 詳細
器具	180	180	0 詳細



RTCエラーは、ゲートウェイ/センサー/器具間のお互いの時間が合わないことを意味します。

このような場合には、[セットアップ] → [ゲートウェイ時間同期]を押して同期化をすれば、解決することができます。

RTC: Real Time Clock



HOME画面の[ヘルプ]を押すと、[ユーザーマニュアル]・[バージョン]・[FAQ]・[連絡先]を確認することができます。



- ①ユーザーマニュアル : ユーザーマニュアルが閲覧できます。
- ②バージョン : コントローラのバージョン情報を表示します。
- ③FAQ : 良くある質問と回答です。
- ④連絡先 : ㈱遠藤照明のホームページを表示します。

* ヘルプ画面に表示された最新情報は、ホームページでも公開されています。

L	ヘルプ 画面
---	-----------

連絡先

お問い合わせ先:

株式会社 遠藤照明 ホームページアドレス
<http://www.endo-lighting.co.jp>

【 企業情報 】を選択して、【事業所】を選択すると
 営業所一覧表が表示されます。

最寄の営業所へお問い合わせください。



L	ヘルプ 画面
---	-----------

FAQ（良くある質問と回答）



最新情報は、ホームページでも公開されています。



<http://www.endo-lighting.co.jp>



Q.

図面登録のとき、ファイルを長押しで選択しても選択のポップアップが表示されません。

A.

ファイル形式を確認してください。使用できるファイル形式は、“Filename_XX.sli”のような形式のファイルです。XXに数字が入力されている必要があります。

Q.

コントローラの時間が2001年1月1日になっています。

A.

バッテリーが完全に放電すると、コントローラの時刻の情報がリセットされます。システムセットアップから日付と時刻を現在の時刻に再設定してください。また、バッテリーが完全に放電されないように頻繁に充電状態を確認して充電してください。

Q.

ゲートウェイと接続直後に“アップデートゲートウェイリスト？”ポップアップが現れます。どれを選択しますか？

A.

コントローラに保存されているゲートウェイのリストとゲートウェイに保存されているゲートウェイのリストが異なる場合は、このようなポップアップが現れます。システムが既に揃っていて使用していた場合は[Yes]を選択してください。システムを初期設定する場合は、[No]を選択して、コントローラのゲートウェイのリストを作成して、ゲートウェイにアップロードしてください。

Q.

ゲートウェイの設定中、ネットワークIDを入力しましたが、重複したIDというポップアップが現れます。

A.

周囲に同じIDを使用する別のシステムがある場合です。このような場合は他のIDに変更して入力してください。ゲートウェイ設定27ページ参照してください。

Q.

ゲートウェイを移設、または交換します。何か準備作業がありますか？

A.

移設、交換のときは、ゲートウェイを一度、工場出荷時の状態にする必要があります。

工場出荷時の状態にもどす方法はゲートウェイ設定のシステム設定28ページを確認してください。

L	ヘルプ 画面
---	-----------

FAQ（良くある質問と回答）

Q.
ゲートウェイインジケータの表示(動作)内容を教えてください。

A.
下表 1)を参照ください。

1) LED インジケータ動作表

LED	説明	色	動作	
WLAN	コントローラ ゲートウェイ間の 双方向通信	緑	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
IEEE 802.15.4	無線モジュール間の 双方向通信	緑	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
Ethernet	LAN双方向通信 (GW間/クライアント PC間)	緑	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
Power	電源、RTC	赤	点灯	通電・正常
			消灯	未通電
			高速点滅 (1秒間隔)	無線モジュール 異常
			低速点滅 (2秒間隔)	RTC停止～復帰
			2点 1滅	通信中
通信遮断				

上記の項目を確認した後に異常がある場合は、すぐに電源を切って販売店にご連絡ください。

※ 全てのインジケータが点滅する時: ゲートウェイ設定でゲートウェイを選択したとき

L	ヘルプ 画面
---	-----------

FAQ（良くある質問と回答）

Q.
センサーインジケータの表示(動作)内容を教えてください。

A.
下表 1)、2)、3)、4)を参照ください。

1) 運転ランプ(赤)は、下記の内容を示します。

運転ランプ(赤) 点灯状態	状態
消灯	電源オフ
点灯	電源オン

2) ネットワークランプ(緑)は、下記の内容を示します。

ネットワークランプ(緑) 点灯状態	状態
0.5秒点灯、0.5秒消灯	ゲートウェイ・センサー間 非通信
1秒点灯4秒消灯	ゲートウェイ・センサー間 通信中
50ms点灯50ms消灯5回繰り返し	送信、受信

3) 人感センサーランプ(緑色)が点灯したら、人を検知したことを示します。

点灯を確認することで感知範囲を確認することができます。

4) 動作に異常がある場合の点灯と対処方法

運転ランプ(赤)の点灯状態	対処方法
オフの場合	電源を確認してください

上記の項目を確認した後も異常がある場合は、すぐに電源を切って、販売店にご連絡ください。

仕様

項目	内容
電源	リチウムイオン電池
使用温度範囲	5°C ~ 35°C
保存温度	-10°C ~ 50°C
質量	300g

保証とアフターサービス

無償修理規定

- 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 無償保証期間および範囲
 - 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。
ただし、3項に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。
 - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理などのアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理になります。
 - (a) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
 - (b) 改造した場合。
 - (c) 操作方法、調整、定期点検の不備なことによる事故、損傷や故障の場合。
 - (d) 据付け場所不備による事故、損傷や故障の場合。
 - 化学薬品及び強電界等の特殊環境条件。
 - 結露、塩害等。
 - (e) 据付け工事に不都合がある場合。
 - 据付け工事中取扱い不良のための事故、損傷や故障の場合。
 - (f) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
 - (g) 本機事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。
 - (h) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

Smart LEDZ コントローラ設定メモ

●コントローラ

パスワードログイン	
-----------	--

●ゲートウェイ

システムID	
ネットワークID	

ゲートウェイ名	WI-FIパスワード	IPアドレス

